

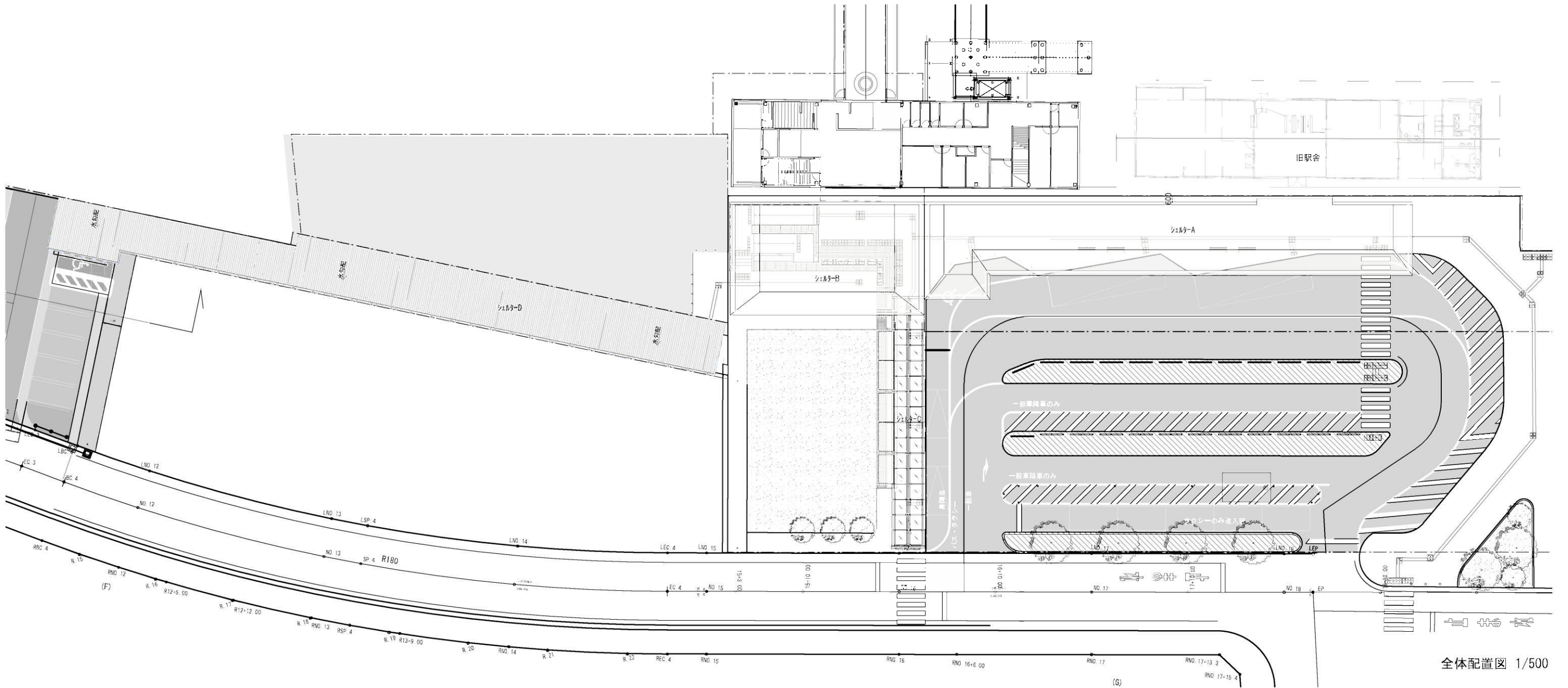
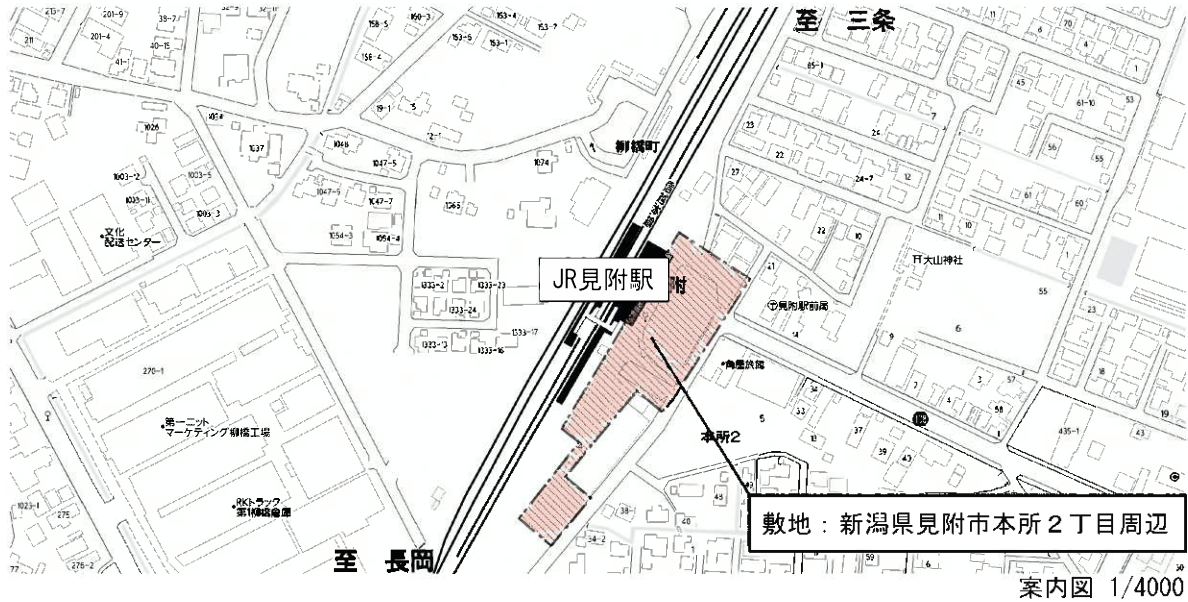
令和5年度 建工第45号
見附駅周辺整備（東口側連絡通路設置）工事

【連絡通路シェルター】
設計図面

見附市都市環境課

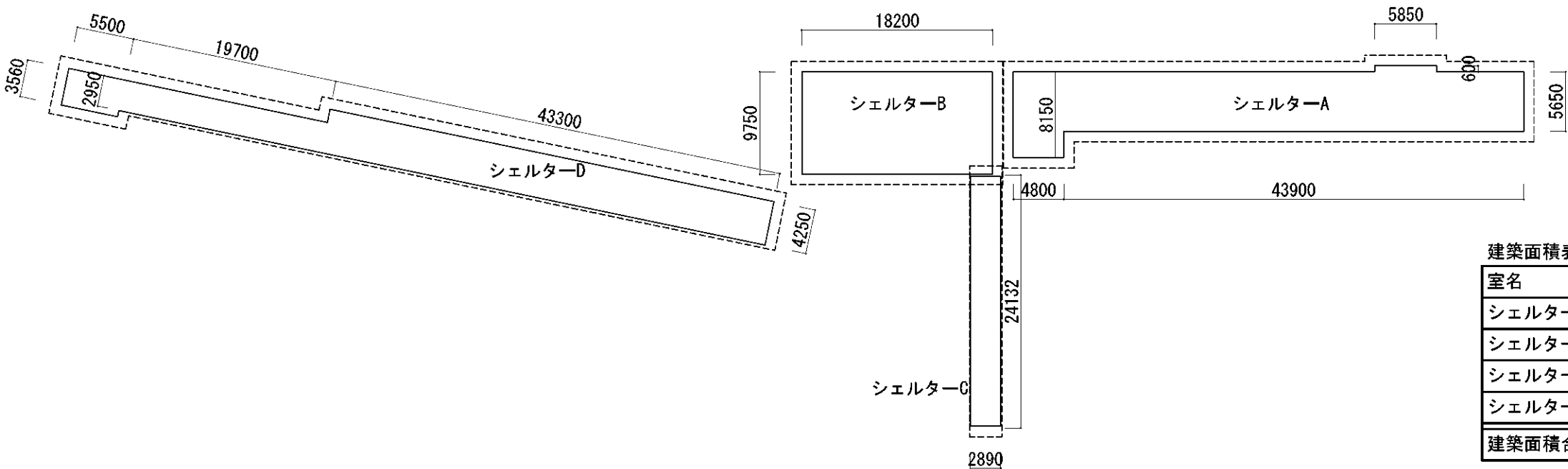
シェルター 建築概要

工事名称	見附駅駅前周辺整備
発注者名	見附市
建設場所	〒954-0051 新潟県見附市本所2丁目周辺
用途地域	商業地域
防火地域	準防火地域
許容建蔽率	80%
許容容積率	400%
主要用途	路線バス停留所、タクシー乗降場、歩行者用通との上屋 (シェルターAを除き、市道上の道路付属物として取り扱う)
建築面積(合計)	シェルターA:290.67㎡ シェルターB:177.45㎡ シェルターC:69.74㎡ シェルターD:261.72㎡ 合計面積:799.58㎡
工事種別	新築
構造種別	鉄骨造



仕上げ表

シェルター名	部位		仕上げ	備考
シェルターA	屋根		フッ素樹脂加工ガルバリウム鋼板t0.5 @1020(1/100勾配 対応品)/改質アスファルトルーフィング 22kg/木毛セメント板t15 (2枚貼り)/野地受母屋材：C-チャンネル 50×150@455/大梁：H-340×250×9×14等 (錆止め塗装)	
	天井		木材保護防腐塗料塗布(オモテ-3回塗 同等品)/ヒキ縁甲板(上小節材 本実加工) t12w105 L=3000定尺貼り/透湿防水シート/下地耐水合板t12/ 野縁：建築用鋼製下地材 C-50×25 @303 /野縁受：建築用鋼製下地材 C-12×38@900(吊りハンガー、吊りボルト供、耐風圧仕様)	
	柱	鉄骨部	常温硬化型フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/St-Pipe φ267.4	
	樋	軒樋	耐酸被覆鋼板 t0.5曲げ加工/下地：木毛セメント板t15	
		縦樋	常温硬化型/フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/St-Pipe φ114.3	
	基礎		コンクリート打ち放し	
シェルターB	屋根		フッ素樹脂加工ガルバリウム鋼板t0.5 @1020(1/100勾配 対応品)/改質アスファルトルーフィング 22kg/木毛セメント板t15 (2枚貼り)/野地受母屋材：C-チャンネル 50×150@455/大梁：H-340×250×9×14等 (錆止め塗装)	
	天井		木材保護防腐塗料塗布(オモテ-3回塗 同等品)/ヒキ縁甲板(上小節材 本実加工) t12w105 L=3000定尺貼り/透湿防水シート/下地耐水合板t12/ 野縁：建築用鋼製下地材 C-50×25 @303 /野縁受：建築用鋼製下地材 C-12×38@900(吊りハンガー、吊りボルト供、耐風圧仕様)	
	柱	鉄骨部	常温硬化型フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/St-Pipe φ406.4	
	樋	軒樋	耐酸被覆鋼板 t0.5曲げ加工/下地：木毛セメント板t15	
		縦樋	常温硬化型/フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/St-Pipe φ139.8	
	基礎		コンクリート打ち放し	
シェルターC	屋根		倍強度合わせHS12+HS12	
	外壁		倍強度合わせHS8+HS8/常温硬化型フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/CT-62.5×60×6×8	
	束柱・梁	鉄骨部	常温硬化型フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/H-125×125×6.5×9	
	柱	鉄骨部	常温硬化型フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/St-Pipe φ190.7	
	樋	軒樋	SUS製樋	
		縦樋	常温硬化型フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/St Pipe φ76.3	
	基礎		コンクリート打ち放し	
シェルターD	屋根		重ね葺き折板(SS-600型 カラーGL鋼板)	
	梁	鉄骨部	常温硬化型フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/H-294×200×8×12等	
	柱	鉄骨部	常温硬化型フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/St-Pipe φ216.3	
	樋	軒樋	ガルバリウム鋼板	
		縦樋	常温硬化型フッ素樹脂塗装(指定色)/溶融亜鉛メッキ/St-Pipe φ114.3	
	基礎		コンクリート打ち放し	



建築面積表		
室名	計算式	面積 (㎡)
シェルターA	4.800*8.150+43.900*5.650+5.850*0.600	290.67
シェルターB	18.200*9.750	177.45
シェルターC	2.890*24.132	69.74
シェルターD	5.500*3.560+19.700*2.950+43.300*4.250	261.72
建築面積合計	A+B+C+D	799.58

00 特記仕様書の取扱いについて

1. 項目は、項目番号に、○印をつけたものを適用する。
2. 細目は、●印をつけたものを適用する。
3. その他特記事項は、()内に記載する。
4. 製造会社、施工会社指定については、後欄のメーカーリストに依るものとし、同等品以上と読み替える事も可能である。但し、その使用、採用に当っては、係員の承認を受けるものとする。

01 一般共通事項

適用範囲

● 本工事の施工に伴う、提出図書は、下記に定める他、必要に応じて、係員と協議の上、作成するものとする。

経費

● 本工事の設計図書に関する経費は、工事契約前に、質疑応答書をもって確かめておくものとする。
● 設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。
● 見積図に記載されていることはたとえ見積書において、細目が記載されていなくても責任をもって施工する。

優先順位

● 本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。
① 現場説明事項(質疑応答書を含む)
② 特記仕様書
③ 各設計図
④ 共通仕様書
⑤ 公共規格及びこれに準ずる規格
(建設大臣官庁 官庁営繕部監修 建築工事共通仕様書 H.9年度版)

材料試験

● 本工事に使用する材料のうち、係員により指示のあるものに関してはその成績表を提出し、又は係員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならぬ。なお試験に要する経費等は、すべて請負業者の負担とする。

提出図書

● 本特記仕様書は、各共通仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり、各工事において、他の工事との関連ある事項は、各々該当の記載事項を参照する。

提出図書	部数	提出時期	備考
1 工事請負契約書	2	契約時	控えとなるもの
2 工事工程表	2	契約後速やかに	ネットワーク工程表
3 現場代理人及び主任技術者届	2	"	経歴書 一級建築士証明
4 協力業者名簿	2	"	
5 メーカーリスト	2	"	
6 仮設計図書	2	"	
7 施工図、製作図	2	実施15日前(厳守)	各工事毎
8 工事行程報告書	2	1ヶ月ごと	工事進捗表、写真、日報
9 打合議事録	2	その都度	
10 変更工事見積書	2	"	
11 出来高承認願	2	"	
12 官公署届出書類控	2	"	
13 材料試験報告書	2	試験後10日以内	
14 工事竣工届	2	竣工時	
15 工事竣工引渡書	2	"	
16 工事竣工図	2	竣工時より20日	
17 工事竣工写真	-	"	カラーキャビネ版(屋内外)
18 工事保証書	2	竣工時	指定ボックス入
19 鍵リスト	2	"	
20 建物維持管理説明書	3	"	
21 業者連絡先リスト	2	"	

・ 工事竣工図は、黒表紙金文字入製本とし、二部提出する。
・ 竣工写真は、監督員指定の建築写真家によるものとし、アルバム貼付にて提出の事。内観外観共10カット キャビネ版(重要)

定期打合会議

● 工事の円滑な進行を計るため、係員の指示により、工事期間中定期的に各工事責任者を招集し、打ち合わせを行うものとする。
● 請負者は定期打合会議々事録をとり、その都度係員の承認を得るものとする。議事録によってはのみ既成事実の確認をできるものとする。

既設部分との取合

● 既設建物と今回工事の取り合い部分、その他で所りおよび工事の都合などにより破損、損傷させた箇所は、今回工事仕上及び、旧工事、仕上同材にて完全に補修しなければならない。

別途工事

● 別途工事についての工事行程ならびに、納まり等に関して、別途工事業者と密接に連絡し、調整に当たなければならない。

工事保証その他

● 建物竣工引渡後 10 年以内において工事不良のため、生じたと認められる損害は、請負者の負担にて、迅速丁寧に復旧する。
● 本工事施工に際しては、本工事場所が、工事による騒音、振動などについて地域規制されていないかを確かめ、規制されている場合は、規制に従い、施工計画を立て、関係官庁の指導を受ける。

10 式典費用

・ 地鎮祭費用を含むこと
・ 請負者は本工事全ての物件に対して事故の負担をもって係員の承認する妥当な金額の損害保険(火災保険を含む)を付し、その写しを提出すること

11 施工の立ち会い

● 次に示す段階の施工には係員の立ち会いを得て施工する。
この場合、請負者は一週間以上前に資料を添えて係員に通知するものとする

2 施工の検査

①レディミクストコンクリートの試し練り時
②鉄筋の圧接工事開始時
③コンクリート打設時
④鉄骨立て方時

● 次に示す工事段階及び事項については係員の検査を受けるものとする。
この場合、請負者は一週間以上前に資料を添えて係員に通知するものとする
①なわ張り等により建物の位置を示した時点
②ベンチマークの設置が完了した時点
③やり方が完了した時点
④根伐りが完了した時点
⑤配筋が完了した時点
⑥せき板の取り外しが行われた時点
⑦鉄骨工事の除寸図、工場での加工組立及び現場組立が完了した時点
⑧建具の制作が完了した時点
⑨防水工事が完了した時点
⑩床材、仕上材張り付けの時点
⑪外装関係で外部足場をはずす時点

02 仮設工事

仮囲い

・ 構造：・ 鋼板製 ・ 木製 ・ その他(ビニール、防音シート)
・ 高さ：・ 1.5M ・ 1.8M ・ 3M以上
・ その他()
・ 仕上：・ 仕上なし ・ ペイント仕上
・ その他()
● 範囲： 通路箇、および安全上必要と思われる範囲とする。
・ 留意： ()
・ 構造：・ プレハブ造 ・ 木造 ・ その他()
・ 規模：・ 10㎡内外 ・ 20㎡内外 ・ 35㎡内外
・ その他()
・ 備品：・ 机、椅子、書棚及び四面鏡、図板、定規、農筋、温度度計、テストハンマー、ノギス、安全帽、乗客用安全帽、長靴、水平巻道器、ロッカー
・ その他()
・ 設備：・ 電灯 ・ 給排水、給湯設備 ・ 電話 ・ 冷蔵庫
・ 消火器 ・ インターホン ・ クーラー
・ その他()
・ 係員駐所は工事打ち合わせに便利なように請負事務所に隣接して建てる。
駐所に係る経費等は、一切請負者の負担とする。
● 本工事現場に掲示する看板は、大きさ、資材、仕上、取付位置などあらかじめ係員と協議する。
● 利用できる(● 有償 ・ 無償) ・ 利用できない。
● 工事上搬入、移動を要する騒音なものは、本工事の範囲とする。
● 標準 G.L. の決定及び、B.M. の設置は、係員の立会いのもとに行う。
● 本工事の施工に当り、付近住民、隣接建物、工作物、通行人に対して損害を与えないように、必要な保護設備を計画し、係員及び各関係の承認を得て実施する。万一損害を与えた時は、速やかに対応手段、復旧工事をし、これに要した費用は、請負者の負担とする。
● 工事完了後、建物引渡し前に全体の掃除を行い、公道の工事による損傷部は完全に復旧する。

看板

工事用水電力

障害物の処理

設計 G.L.

保護設備

03 土工事

根切り

● 工事着手前に根切方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した施工計画図を提出し、係員の承認を得るものとする。
● 根切完了後、深さ、大きさ、床さらいの状態について、係員の承認を得るものとする。
・ 特殊工法
・ 樹木：・ 移植 ● 伐採 ・ その他()
● 埋戻し： ● 根切土使用 ・ その他()
● 盛土： ● 無 ・ 有
● 場外搬出
・ 場内推積 ・ 場内敷均し
・ その他()
● 床付け検査を行う。

敷地整理

埋戻し、盛土

残土処分

確認・検査項目

04 地業工事

1 地耐力試験

・ 不要 ・ 必要 箇所 詳細は打ち合わせによる
・ 長期支持力 KN/㎡

2 既設杭地業

・ 杭の種類：・ RC杭 ・ PC杭 ・ 鋼管杭 ・ その他()
・ 長さ等： 詳細については構造設計図特記による。
・ 試験杭： 詳細については構造設計図特記による。
・ アースオーガー工法：・ 不要 ・ 必要 GLー m迄

3 場所打コンクリート地業

・ 杭の種類：・ アースドリル杭 ・ ベント杭 ・ 深礎工法
・ その他()
・ 長さ等： 詳細については構造設計図特記による。
・ 使用鉄筋： 詳細については構造設計図特記による。
・ コンクリート： 詳細については構造設計図特記による。
・ 積荷試験：・ 不要 ・ 必要 箇所

削り石及び砂利地業

● 地業の種類：・ 削り石 ・ 砂 ● 砂利 ・ 砕石
・ その他()
● 厚さ： 60mm

5 ラップルコンクリート地業

・ コンクリートの割合：セメント1・砂3・砂利6(容積比)
・ コンクリートと玉石の比率：・ 1:1 ・ その他()

均しコンクリート地業

● 厚さ： 80mm
● 割合：セメント1・砂3・砂利6(容積比) ● Fc = 18/Nmm

ポリエチレンフィルム敷き

・ 不要 ● 必要 厚0.15mm

8 特殊工法

・

05 コンクリート工事

鉄筋コンクリート

● コンクリートの種別： ● 普通コンクリート ・ 早強コンクリート
・ その他()
● 設計基準強度 : ● 18N/㎡ ・ 21N/㎡
● 24N/㎡
・ その他()
● 混和剤等 : ・ 減水剤 ・ 防錆剤 ● AE減水剤
・ その他()
● セメント : ● 普通ポルトランドセメント
・ 混合セメントA種
● 粗骨材 : ● 川砂利 ・ 砕石 ・ その他()
● 細骨材 : ● 川砂 ・ 山砂 ・ その他()
● コンクリートの供給： ● レディーミックスコンクリート
・ 現場コンクリート
・ その他()
● 水セメント比 : ● 65°/wt以下 ・ 70°/wt
・ その他()
● 塩化物規制 : ● 0.3kg/コンクリート㎡以下
・ 0.3kg/㎡～0.6kg/㎡
・ 粗骨材 : ・ 人工軽量骨材 ・ その他()
・ 細骨材 : ・ 人工軽量骨材 ・ その他()
・ 設計基準強度：・ 18N/㎡ ・ 21N/㎡
・ 24N/㎡ ・ その他()
・ 気乾比重 : ・ 1.8以下 ・ その他()
・ 適用範囲： 年 月 日～ 年 月 日
・ 土間コンクリート： Fc＝ N/㎡ スランプ15cm以下とする。
・ 防水押え床かさ上げコンクリート：Fc＝ N/㎡
・ 基準強度：・ 13.5N/㎡ ・ 15N/㎡ ・ 18N/㎡
・ 気乾比重：・ 1.8 ・ 1.2 ・ 1.1 ・ その他()
・ 粗骨材：・ 火山砂利又は石灰ガラ ・ 人工軽量骨材 ・ その他()
・ 細骨材：・ 川砂 ・ 山砂 ・ 海砂 ・ その他()
● 構造体コンクリートと供試体強度の差3N/㎡を考慮して免圧強度を決定する。
ただし、無筋コンクリートは割り壊しを見ない。
● 単位水量は185kg/㎡以下とし、なるべく小さくする。
● 材料 : ● 台板(厚12mm) ・ 綿甲板(厚 mm)
・ 金属製型枠パネル ・ その他()
● 工法 : ● ボルト式 ・ その他()
● 剥離剤 : ● 使用不可 ・ 使用可()
● 存置期間： 建設省告示第110号による。
● 打放しコンクリート仕上りのかぶり厚増： ● 20mm
・ その他()
● 採取した試験体は工事現場等、請負業者の直接管理下にある場所に保蔵する。
● 供試体は材齢7日用、28日用その他の必要に応じてそれぞれ3個を適当に間隔をおけた運搬車から3度に分けて試料を採取する。
● コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験所に於て行なう事を原則とする。
(ただし、型枠脱型用試験は生コン会社でも可とする。)

2 軽量コンクリート(構造用)

3 寒中コンクリート

4 無筋コンクリート

5 軽量コンクリート(非構造用)

割合

型枠

試験

運搬及び打込

06 鉄筋工事

一般事項

● 鉄筋の使用範囲は、構造設計図による。
● 鉄筋の継手及び補強配筋等については、共通仕様書の他に、構造設計図記載の、基準詳細図等を優先とする。
● 鉄筋の加工、組立に際しては、あらかじめ鉄筋加工図を작성し、係員の承認を受ける。
・ 普通鉄筋： SR235(規格品)
● 異形鉄筋： ● SD295A/B(規格品) ● SD345(規格品)
・ その他()
● 種類 : ・ ガス圧接継手 (・ 16φ以上 ・ 19φ以上)
● 重ね継手 ・ アーク溶接継手
・ その他()
● 種類 : ・ 金属型 ・ モルタル製 ・ 塩に型
● 見本を提出して監理者の承認を受ける。
● スラブ筋に対してはバースペーサーを用いる。
・ 継手検査：・ 引張曲げ試験：・ 圧接箇所 箇所ごとに 本
● 書類確認： ● 材料証明 ● 配筋自主検査記録 ・ 鉄筋加工図
● 立会検査： ● 配筋検査
監理者による配筋検査の前に施工者による目主検査を実施し、報告する。配筋検査による是正事項は施工者の責任で是正し、写真記録をとること。

材料

継手

鉄筋スペーサー

確認・検査

07 鉄骨工事

一般事項

● 使用範囲及び区分は、構造設計図による。
● 鉄骨の継手、仕口及び補強部分その他については、共通仕様書の他に構造設計図記載の、基準詳細図等を優先する。
● 工作図または、現寸図(型板および定規を含む)を作成し、係員の検査を受ける。
● 形鋼・鋼板： ● SS400 ・ SN400A/B/C
・ SN490A/B/C
・ SM400A/B ・ SM490A/B
・ その他()
・ 軽量形鋼： ● SSC400(規格品)
・ 網管 : ・ STK400 ・ STK490
・ STKR400 ・ STKR490
・ その他()
・ 高力ボルト：・ F8T ・ F10T ・ F12T
・ 普通ボルト：・ SS400とし等価は中ボルト程度とする。
・ リベット：・ SV400A(規格品)
・ 溶接材料：・ JIS-Z-3211規格に適合するもの。
● 防錆塗装：・ 露地設置の程度 ・ 第一種ケレン(ブラスト法)
・ 第二種ケレン(機械的作業)
・ 第三種ケレン(手工具作業)
: ● 錆止塗装は、仕上塗装種別に応じた同系錆止塗料とする。
: ● 塗装回数、工場1回、現場1回、但し組立後
● 塗装不可能な部分は、工場2回塗りとする。
・ 仕上塗装：・ オイルペイント ・ グラファイトペイント
・ その他()
● 重鉛溶融メッキ
・ 鋼材 : ・ SPA H/C ・ SMA400A/B
・ SMA490A/B ・ その他()
・ 高力ボルト：・ F8T ・ F10T ・ F12T
・ 使用材料：・ 裸使用
・ 表面処理(・ ウェザーコートⅠ ・ ウェザーコートⅡ
・ その他()
・ 溶接材料： JIS-Z-3212規格に適合するもの。
・ 試験の種類：・ 超音波探傷試験 ・ X線検査
・ その他()
・ 行なう ・ 行わない
・ 必要 ・ 不必要

普通鋼

3 耐熱性高張力鋼

4 溶接部の試験

5 溶接工の技量確認

6 試作品

08 仕上げ

仕上げ

● 面の仕上がり： ● 目違い不陸等の少ない良好な面とする。
● 打放しのままとし目違いばいを行う。
補修が必要な場合は係員の指示を仰ぎ、専門の業者で行う
ひどい場合は打ち直しとする。
● 木コン穴の仕上げ： 打放し仕上げの場合、保水剤入りモルタルを詰める。
● 面うちに仕上げる。
・ コンクリート面に合わせ仕上げる。

確認・検査

見附駅周辺整備計画図

有限会社 アトリエ・ワン 一級建築士事務所 東京都知事登録第46278号
〒160-0018 東京都新宿区須賀町8-79 tel/03-3226-5336 fax/03-3226-5366

一級建築士 玉井洋一 第336929号 国土交通大臣

特記仕様書

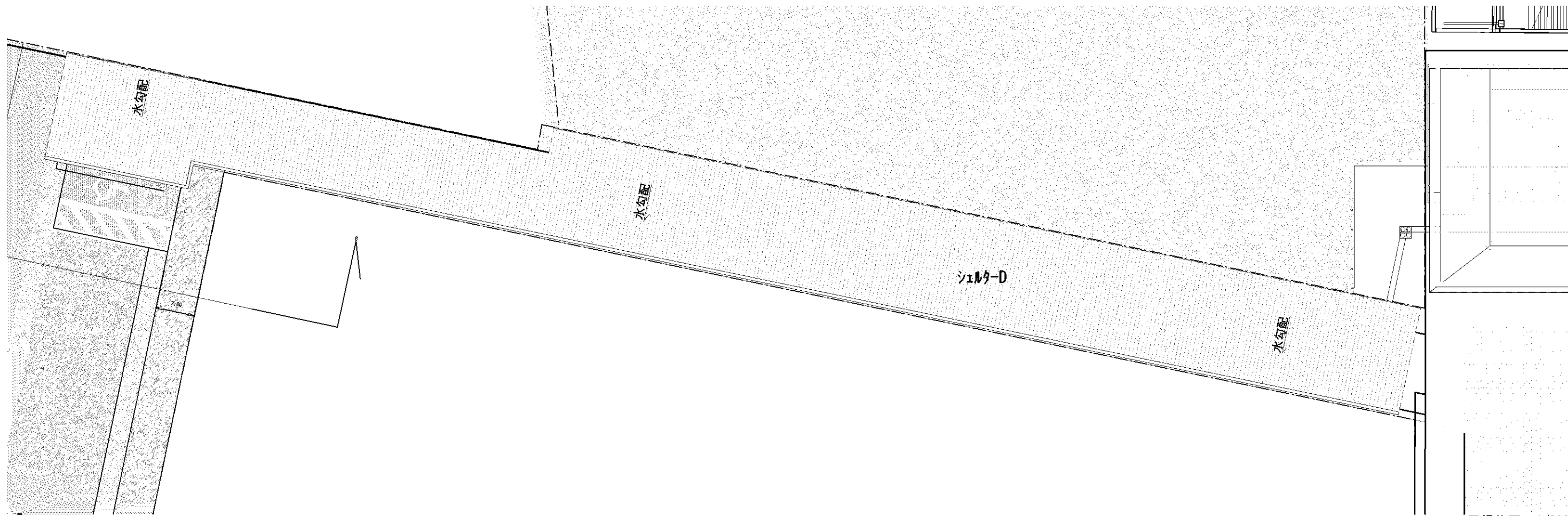
231130

A-03

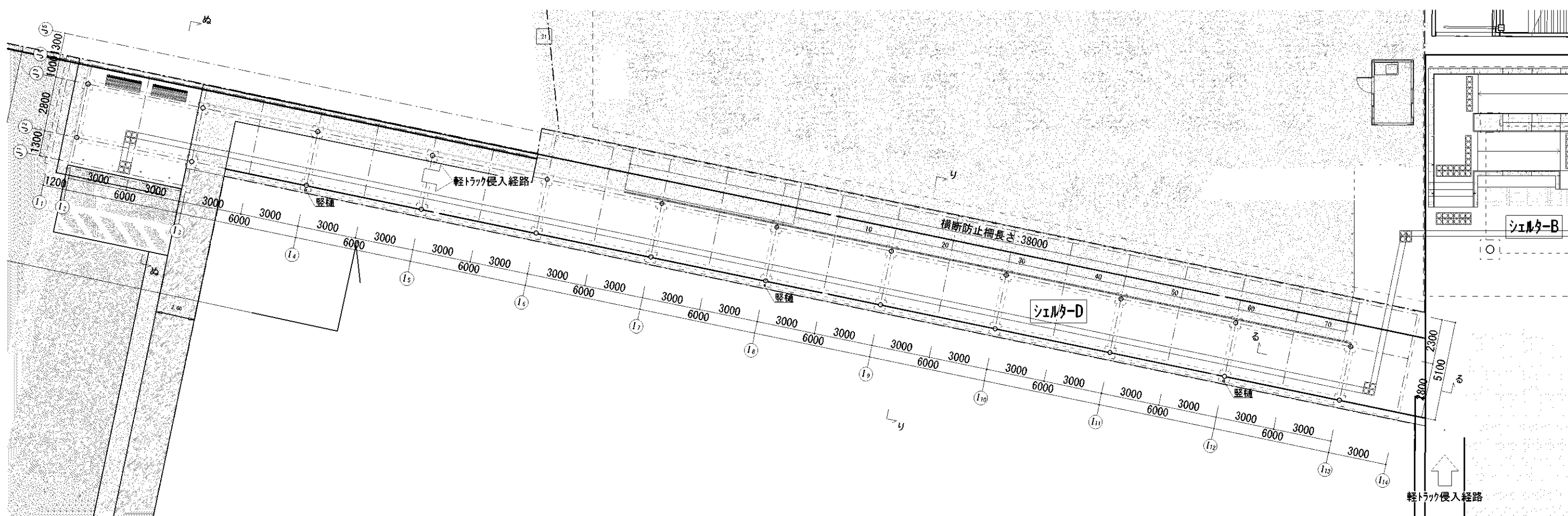
0 8 組積工事		9 シーリング材		1 2 木工事	
1 コンクリートブロック		● 種 別: ・ A種 ・ B種 ● C種(防水)		①一般事項	
・ 厚 さ: ・ 100mm ・ 120mm ・ 150mm		・ 190mm		・ 土台・床下地は、薬液による防虫処理剤を使用する。	
・ 補強鉄筋: 縦筋D10@400mm		横筋D10@600mm		● ラワン材使用の場合は、加熱による防虫処理材とする。但し係員の承認を受けて、薬液による防虫処理を使用してもよい。	
開口補強筋D13				・ 水廻り及び壁、敷居等は、桧又は、同等以上の堅木を使用するものとする。	
2 煉瓦 (レンガ)		・ 種 別: ・ 普通 ・ 耐火 ・ 焼過ぎ		● 木材・接合金物等の製作にあたり製作要領書を作成して監理者の承認を受けること。	
・ その他(・ 使用箇所: ・ 化粧 ・ 塗下 ・ 防水押え ・ 煙道		● 工事に先立ち必要な制作図と共に施工要領書を作成して監理者の承認を受けること。	
・ その他(● 各工程の施工終了後はすみやかに施工記録を作成して監理者に提出すること。	
3 ALC板		・ 形状・寸法: ・ 外壁 mm ・ 間仕切壁 mm		②樹種及び等級	
・ 床板 mm ・ 屋根板 mm		・ 目地シーリング材: ・ 弾性(・ ポリサルファイド系		・ 見え隠れ材: ・ 樹種 ・ 等級	
・ シリコン系		・ ポリウレタン系		・ 和室造作材: ・ 樹種 ・ 等級	
・ 塑性(・ アクリル系 ・ プチル系		・ 油性		・ 一般造作材: ・ 樹種 ・ 等級	
・ その他(・ 取付金物: SS400を原則とし、亜鉛メッキ処理を原則とする。		・ 幹 材: ・ 樹種: ・ 特級	
4 プレキャストコンクリート		・ 本工事は、事前に指定製作所に於て設計図及び仕様書に基づきあらかじめ製作、延立工法の詳細について、施工図及び、施工計画書を提出し、係員の承認を受けた後工事に着手する。		・ 集成材の表面: ・ 樹種: ・ 特級	
・ コンクリートの種別: ・ 軽量コンクリート(構造用)		・ 普通コンクリート		● 下地コンパネ: ラワン合板 t12	
・ 混和剤の有無 : ・ 必要 ・ 不必要		・ コンクリートの強度: kg/cm ²		● 見え隠れ部分の掘水面上に接する部分、及び地盤より1m以内の部分に行うものとする。	
・ 型 枠 : ・ 木製・金属製		・ その他(● 製材	
・ シーリング材 : ・ ポリサルファイド系		・ その他(● 平成13年日本農林規格143号「針葉樹の構造用製材の日本農林規格」	
・ 取付金物の防錆処理: ・ シンクロメートメッキ処理		・ 亜鉛メッキ処理		・ 材種:ベイマツ 乙種・1級、ヒノキ 甲種・1級	
・ その他(・ 現寸試作品 : ・ 必要 ・ 不必要		● ヒバ 甲種・1級、スギ 無等級	
				● 含水率:15%以下	
				● 構造用合板	
				● 平成20年日本農林規格1371号「合板の日本農林規格」	
				● 接着の程度:特種(屋外等、常時湿潤状態にある場所)、1類(その他)	
				● 表面の品質:2級	
				● 結核7分ヒド:F☆☆☆☆	
				● 接合具: ● くぎ(JISA5508)	
				材質は鉄またはステンレスとし、鉄の場合はHDZ35程度の亜鉛メッキを施したものとする。	
				● 金物(JIS G 3101等を準用) SS400同等以上のもの。	
				● ボルト/ナット 六角ボルト :JIS B1180	
				六角ナット :JIS B1181	
				メートル並目ねじ: JIS B0205	
				・ドリフトピンおよびラグスクリュー、ボルトの品質と同等以上	
				● 座金:ボルトに使用する座金は原則として丸座金とする。	
				ただし、引張ボルトとして使用される座金の寸法は別途特記による。	
				● 材料: ● 品質:JIS G 3101に準ずる	
				● 材質:SS400と同等以上	
				● 心出し: ● 心出しは、型板を用いて基準墨に正しく合わせ適切な機器等で正確に行う。	
				・ 保持及び埋込み工法:	
				・ アンカーボルトを鉄線等を用いて組み立て、適切な補助割で型枠の隅に固定しコンクリートの打込みを行う。	
				・ アンカーボルトは二重ナットとする。	
				● 釘の長さは、原則として材厚の2.5倍以上とする。	
				● 構造材および下張材に対する久木野打ち込み本数は特記による。	
				● くぎは、材継ぎに対して乱に打ち、間隔を大きく取る。	
				・ 構造用面材を筋かい同等と扱う場合の釘打ち工法は、「昭和56年建設省告示1100号」による。	
				・ 羽子板ボルト・平金物・短冊金物・かね折り金物及び箱金物の取り付けは、接合金物の間が密着するように締め付ける。	
				・ 接合金物および接合具は、以下のいずれかによる。	
				A) (財)日本住宅・木材センター「軸組工法用金物規格(Zマーク表示物)」、または「3階建て木造住宅用金物規格(Z・Cマーク表示金物)」による。	
				種類等は、特記がなければ用途に応じた適切なものとする。	
				B)上記A)の金物と同等以上の性能を有し、監理者の承認を受けたものとする。	
				・ 水平構面の剛性が十分期待できる床の施工(剛な床組)(床の剛性は耐力壁線に囲まれた横面を単位に考える)	
				このとき、次のA)、B)を満足すること。	
				A)床下地板は構造用合板12mm以上を使用し、合板の四辺廻は床ばり、胴差又は受材等に固定する。	
				B)断面寸法105mm×105mm以上の床梁を1,820mm内外の間隔にはり間方向又はけた行方向に配置する。	
				③材料	
				● 製材	
				● 平成13年日本農林規格143号「針葉樹の構造用製材の日本農林規格」	
				・ 材種:ベイマツ 乙種・1級、ヒノキ 甲種・1級	
				● ヒバ 甲種・1級、スギ 無等級	
				● 含水率:15%以下	
				● 構造用合板	
				● 平成20年日本農林規格1371号「合板の日本農林規格」	
				● 接着の程度:特種(屋外等、常時湿潤状態にある場所)、1類(その他)	
				● 表面の品質:2級	
				● 結核7分ヒド:F☆☆☆☆	
				● 接合具: ● くぎ(JISA5508)	
				材質は鉄またはステンレスとし、鉄の場合はHDZ35程度の亜鉛メッキを施したものとする。	
				● 金物(JIS G 3101等を準用) SS400同等以上のもの。	
				● ボルト/ナット 六角ボルト :JIS B1180	
				六角ナット :JIS B1181	
				メートル並目ねじ: JIS B0205	
				・ドリフトピンおよびラグスクリュー、ボルトの品質と同等以上	
				● 座金:ボルトに使用する座金は原則として丸座金とする。	
				ただし、引張ボルトとして使用される座金の寸法は別途特記による。	
				④アンカーボルト	
				● 心出し: ● 心出しは、型板を用いて基準墨に正しく合わせ適切な機器等で正確に行う。	
				・ 保持及び埋込み工法:	
				・ アンカーボルトを鉄線等を用いて組み立て、適切な補助割で型枠の隅に固定しコンクリートの打込みを行う。	
				・ アンカーボルトは二重ナットとする。	
				⑤釘打ち工法	
				● 釘の長さは、原則として材厚の2.5倍以上とする。	
				● 構造材および下張材に対する久木野打ち込み本数は特記による。	
				● くぎは、材継ぎに対して乱に打ち、間隔を大きく取る。	
				・ 構造用面材を筋かい同等と扱う場合の釘打ち工法は、「昭和56年建設省告示1100号」による。	
				⑥耐金物の工法	
				・ 羽子板ボルト・平金物・短冊金物・かね折り金物及び箱金物の取り付けは、接合金物の間が密着するように締め付ける。	
				・ 接合金物および接合具は、以下のいずれかによる。	
				A) (財)日本住宅・木材センター「軸組工法用金物規格(Zマーク表示物)」、または「3階建て木造住宅用金物規格(Z・Cマーク表示金物)」による。	
				種類等は、特記がなければ用途に応じた適切なものとする。	
				B)上記A)の金物と同等以上の性能を有し、監理者の承認を受けたものとする。	
				⑦構造用面材の貼り方	
				・ 水平構面の剛性が十分期待できる床の施工(剛な床組)(床の剛性は耐力壁線に囲まれた横面を単位に考える)	
				このとき、次のA)、B)を満足すること。	
				A)床下地板は構造用合板12mm以上を使用し、合板の四辺廻は床ばり、胴差又は受材等に固定する。	
				B)断面寸法105mm×105mm以上の床梁を1,820mm内外の間隔にはり間方向又はけた行方向に配置する。	
				⑧責任保証	
				● 工事請負者及び施工会社は、記名捺印の上、下記保証期間の保証書を3部係員に提出するものとし、事故を生じた場合は、無償にて補修復旧なすものとする。	
				・ アスファルト防水: 10年間	
				・ シート防水: 10年間	
				・ 塗布防水: 10年間	
				・ モルタル防水: 5年間	
				・ FRP防水: 10年間	

1 3 屋根工事	
① 亜鉛鉄板葺	● 材料: ・ 亜鉛鉄鉄板 ・ 片面カラー鉄板 ・ ビニール被覆鉄板
	● その他(ガルバリウム鋼板
	● 板厚: 0.8mm
	● 工法: ・ 平葺(・ 一文字葺 ・ ひし葺 ・ 瓦葺葺)
	・ 波板葺(・ 大波 ・ 小波) ・ 塹はせ葺 ●重ね葺き折板
	・ 形状: ・ 長尺 ・ 規格
	● 野地板: ・ ドリゾール板 厚 mm
	・ 木毛セメント板 厚 mm
	・ 合板 厚 12 mm
	・ その他(
	・ 下葺: ・ アスファルトルーフィング (22kg以上)
	・ アスファルトフェルト (20kg以上)
	・ その他(
2 スレート葺	・ 材料: ・ 石綿大波 ・ 石綿小波 ・ 石綿平板 ・ リブ
	・ その他(
3 折板構造	・ 材料: ・ 亜鉛鉄鉄板 ・ 片面カラー鉄板 ・ ビニール被覆鉄板
	・ その他(
	・ 板厚: mm
	・ 被覆: ・ 耐火(
	・ 断熱(
	・ 工法: 指定製造所の仕様による。
4 アスファルトシングル葺	・ 材料・工法:改質アスファルトルーフィング、木造木質系の下地/釘打ち工法一部接着工法
5 その他の屋根葺	・ 材料・工法:
⑥ 種	● 笠樋: ・ 白ガス管(φ mm) ・ 塩ビパイプ(φ mm)
	● その他(鉄パイプ φ114.3 mm)
	・ 谷樋: ・ カラー鉄板
	・ その他(
	● 軒樋: ●ガルバリウム鋼板
	・ その他(
	・ 防露: ・ 建物内部に取付く部分は図示なき限りガラス繊維保温断熱25mmの上アスファルトフェルト巻ビニールテープ押えとする。

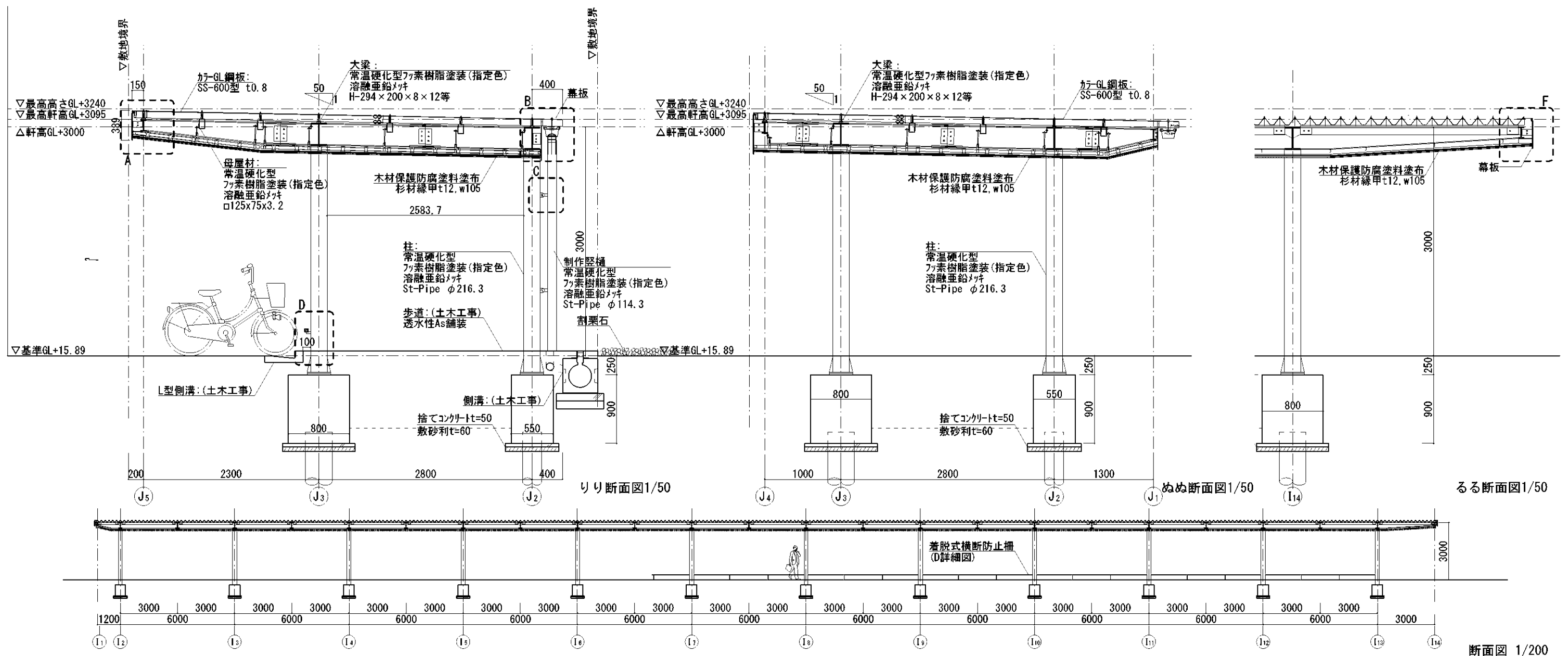
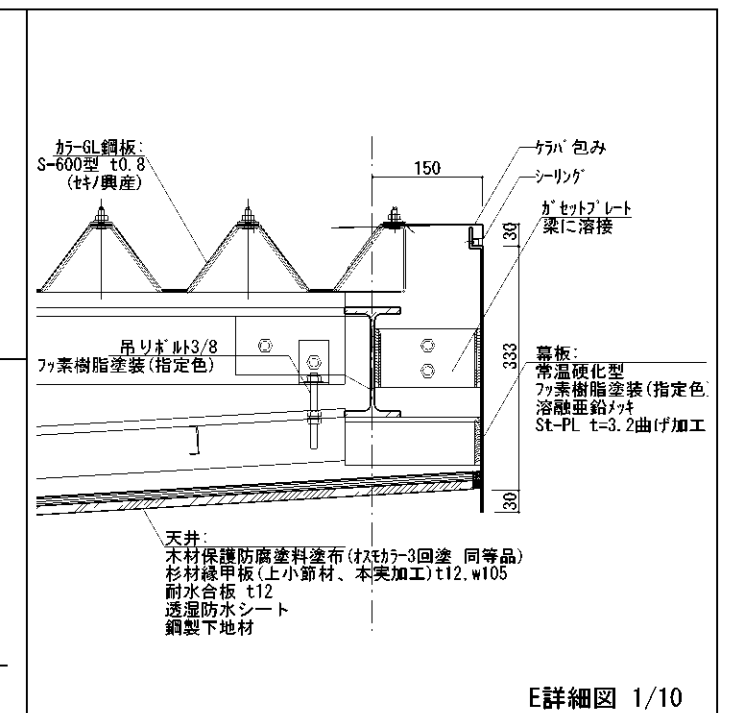
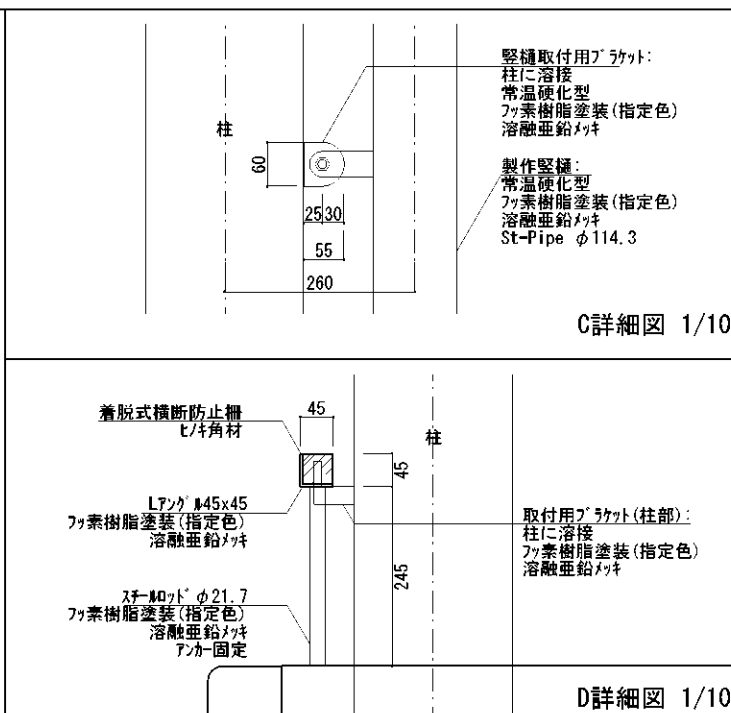
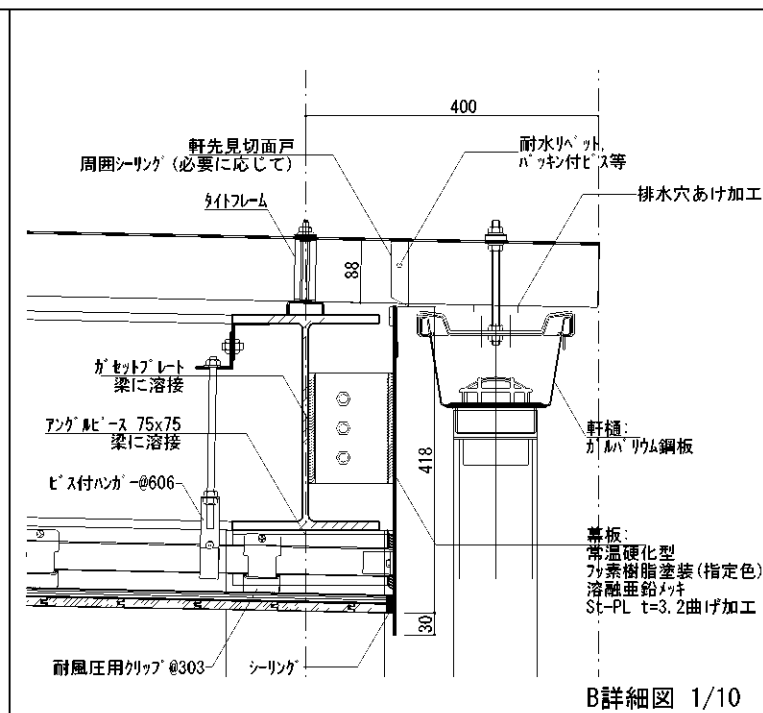
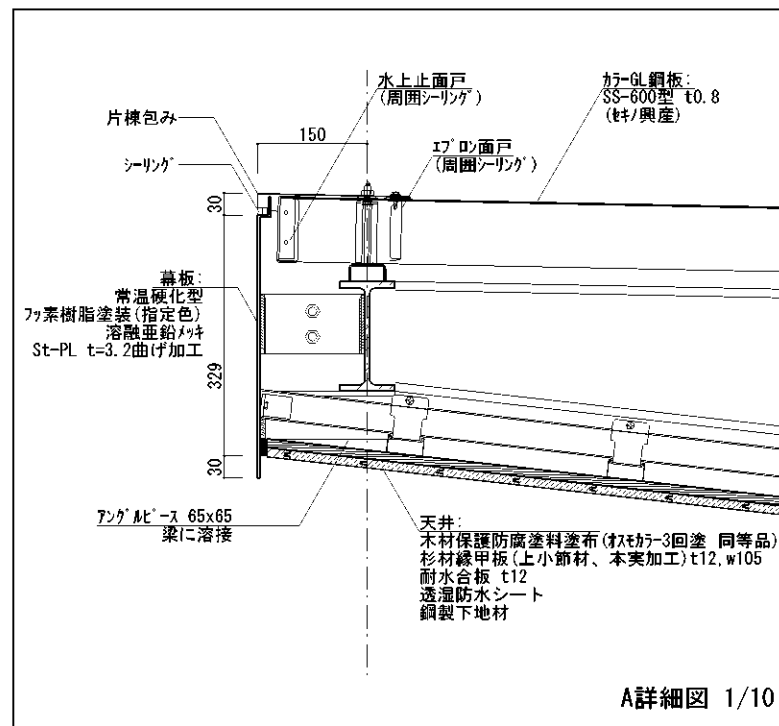
1 4 金属工事		1 6 建具工事		1 8 内装工事		4 屋上丸環	<div> <div>・材質：・亜鉛メッキ ・ステンレス ・その他(</div> <div>・ 型式：・ 材質：</div> <div>・材質：・ステンレス(枠:ステンレス)</div> <div>・硬質アルミ(枠:アルミ)</div> <div>・ビニールあるいはゴム製(枠:硬質アルミ)</div> <div>・種類：・アコーデオンドア ・ルーバードア</div> <div>・パネルパーティション ・その他(</div> <div>・材質：・木製・ビニールクロス仕上 ・焼付塗装</div> <div>・化粧単板 ・その他(</div> <div>・材質：・ステンレス ・アルミ ・プラスチック</div> <div>・その他(</div> <div>・型式：・シングル ・ダブル ・その他(</div> <div>・材質：・ステンレス ・アルミ ・遮光フィルム</div> <div>・型式：・たて型 ・よこ型(スラット巾: mm)</div> <div>・ロール型</div> <div>・種類：・既製品 ・特注 ・その他(</div> <div>・材質：・FRP ・ポリエステル ・ホーロー</div> <div>・ステンレス ・その他(</div> <div>・材質：・ステンレス ・アルミ ・スチール</div> <div>・材質：・コンクリート(既製)</div> </div>
<div> <div>①一般事項</div> <div>②防錆処理</div> <div>3 軽量鉄骨 天井及び壁下地材</div> <div>4 金属製階段 ノンスリップ</div> <div>5 ルーフドレイン</div> <div>6 マンホール</div> <div>7 タラップ</div> <div>8 天井改め口</div> <div>9 格子蓋</div> <div>⑩製作金物</div> </div>	<div> <div>● 工事にあたっては、製作図を提出の上係員の承認を受けるものとする。</div> <div>● 外部金物：・ジンクロメートメッキ処理 ● 亜鉛メッキ処理</div> <div>・その他(</div> <div>● 内部金物：● JIS (船丹ジンクロメート錆止塗料)に規定する。</div> <div>塗料1回塗とする。</div> <div>● 取付用下地金物：・指定なき限り亜鉛メッキ処理とする。</div> <div>・軽量鉄骨天井下地および、壁下地は指定製造所製品とし、防錆処理は</div> <div>ジンクロメートメッキ処理、または亜鉛メッキ処理を施したものとする。</div> <div>・材質・巾：・ステンレス製 mm ・アルミ製 mm</div> <div>・鉄製 mm ・真鍮製 mm</div> <div>・その他(</div> <div>・型 式：・タイヤ入 ・タイヤ無</div> <div>・材 質：・鋼鉄製コールドタル焼付 ・その他(</div> <div>・取付工法：・先付け工法 ・後付け工法</div> <div>・種類：・並型 ・防水型 ・耐重型 ・防臭型</div> <div>・酸(・有 ・無)</div> <div>・材質：・鋼鉄製 ・アルミ枠製 ・その他</div> <div>・型式：・丸型 ・角型 ・二重強化化粧マンホール</div> <div>・その他(</div> <div>・材 質：・ステンレス製 ・アルミ製 ・鉄製</div> <div>・その他(</div> <div>・取付工法：・先付け工法 ・後付け工法</div> <div>・材質：● アルミ枠製 ・ステンレス枠製 ・その他(</div> <div>・寸法：・450mm角 ・600mm角 ・その他(</div> <div>・材質：・鋼鉄製 mm ・ステンレス製 mm</div> <div>・その他(</div> <div>● 材質・形状等は、設計図によるものとする。</div> </div>	<div> <div>1 アルミ建具</div> <div>2 銅製建具</div> <div>3 ステンレス 製建具</div> <div>4 シャッター</div> <div>5 自動扉装置</div> <div>6 木製建具</div> <div>7 建具金物</div> <div>8 建具周囲の シーリング材</div> <div>9 網戸</div> <div>10 ガラス</div> </div>	<div> <div>・種類：・レディーメード製品 ・イメージオーダー製品</div> <div>・オーダーメード製品 ・その他(船舶用丸窓</div> <div>・型式：・レギュラー ・セミエアータイト ・エアータイト</div> <div>・その他(</div> <div>・仕上：・アルマイト仕上 ・自然発色皮膜 ・電解着色皮膜</div> <div>・その他(内部樹脂製</div> <div>・防火：・防火設備</div> <div>・種 類：・普通銅板 ・ボンデ亜鉛銅板 ・ボンデ銅板</div> <div>・耐腐蝕板 ・その他(</div> <div>・銅板厚さ：・窓・出入口・三方枠・方立・無目等は厚さ2.3mm</div> <div>倉置はステンレス製厚さ2mm</div> <div>・防錆処理：・ジンクロメート錆止塗料一回塗 ・その他(</div> <div>・防音処理：・防音屏の性能は30db以上とする。</div> <div>・外部廻り、機械室、その他騒音を生じる個所の銅製ドア枠</div> <div>はスポンジネオプレン気密材を用いて気密にする。</div> <div>・防 火：・甲種 ・乙種</div> <div>・種 類：・レディーメード製品 ・オーダーメイド製品</div> <div>・仕 上：・ヘアーライン仕上 ・パフ仕上</div> <div>・エッチング仕上 ・ミラー仕上</div> <div>・その他(</div> <div>・曲げ加工：・普通曲げ ・角出し曲げ ・その他(</div> <div>・種類：・重量電動シャッター ・軽量電動シャッター</div> <div>・軽量手動シャッター</div> <div>・防煙・防火シャッター(・ 甲種 ・乙種)</div> <div>・型式：・巻込型 ・パイプ型 ・リベット締り型</div> <div>・ネット型 ・波型 ・その他(</div> <div>・機構：・巻上け式 ・横引式 ・水平式</div> <div>・その他(</div> <div>・レール・マグサ：・ステンレス製 ・銅板製</div> <div>・スラットの種類：・ステンレス製 ・アルミ製 ・銅板製</div> <div>厚さ：・厚1.6mm ・厚1.2mm ・厚0.8mm</div> <div>・厚 mm</div> <div>・動力方式：・油圧式 ・空気圧式 ・電気圧式</div> <div>・その他(</div> <div>・制御方式：・アットスイッチ式 ・タッチスイッチ式</div> <div>・光電スイッチ ・その他(</div> <div>・一般事項：・仕上塗装は後記、塗装工事仕様によるものとし、化粧合板</div> <div>の仕様は設計図による。</div> <div>・フラッシュ戸表面材の厚さ：・5.5mm以上 ・4.0mm以上</div> <div>・3.0mm以上</div> <div>・指定製造所の製品とし、形式は設計図により、見本提出の上、係員が承認し</div> <div>たものとする。</div> <div>・マスターキー：・必要 組合3枚 ・不要</div> <div>・グランドマスターキー：・必要 ・不要</div> <div>・逆マスターキー：・必要 ・不要</div> <div>・各キーは市販キーボックスに納入し、案内図を添付して係員に提出する。</div> <div>・その他(</div> <div>・建具の四周は入念にコーキングすること。</div> <div>・種類：・ポリサルファイド系 ・シリコン系 ・油性</div> <div>・その他(變成シリコン系</div> <div>・網の種類：・サラン ・ステンレス ・グラスファイバー</div> <div>・その他(</div> <div>・種類：設計図によるものとし、指定製造会社の製品とする。</div> <div>・ガラス取付材料：・ビニール製ビード</div> <div>・ポリサルファイド系シーล材</div> <div>・硬化性ガラスパテ</div> <div>・ネオプレンシッターガスケット</div> <div>・その他(</div> </div>	<div> <div>1 一般事項</div> <div>2 合成樹脂系床材</div> <div>3 フローリング材</div> <div>4 カーペット</div> <div>5 畳</div> <div>6 特殊合板</div> <div>7 吸音板</div> <div>8 壁装材</div> <div>9 石膏その他 のボード張り</div> <div>10 断熱材</div> <div>11 既製間仕切</div> <div>12 気密試験</div> </div>	<div> <div>・本工事に使用する材料は、JIS規格品とする。但し特殊材料はこれに準拠</div> <div>し前もって見本品を提出したり、見本張りを行い、係員の承認を受けること</div> <div>とする。</div> <div>・本工事に使用する合板は図示なき限り、塗装下地の場合はシナ合板、その他</div> <div>は、ラワン、等級は4級とする。又水場廻りに使用する合板はタイプI耐水</div> <div>合板とする。</div> <div>・目出し貼りの受材面は、特記なき限り、巾広の綿テープ張りを施す。</div> <div>・シックハウス対策には十分留意し、部材7種*11の発散材料に関しては係員の承</div> <div>認を受けることとする。</div> <div>・種類：・塩化ビニール系樹脂タイル ・半硬質</div> <div>・軟 質</div> <div>・ホモジニアス</div> <div>・塩化ビニール系樹脂シート ・半硬質</div> <div>・軟 質</div> <div>・ホモジニアス</div> <div>・ゴムタイル</div> <div>・ゴムシート</div> <div>・その他(コルクタイル、リノリウム</div> <div>・種類：・モザイク ・パーケット ・フローリング</div> <div>・その他(</div> <div>・材質：・ナラ ・フナ ・サクラ ・その他(</div> <div>・種類：・ウイルトンカーペット</div> <div>・コードカーペット</div> <div>・バンチカーペット</div> <div>・その他(</div> <div>・下地：・無 ・有(フェルトクッション mm)</div> <div>・工法：・接着張り ・両面粘着テープ張り ・グリッパー工法</div> <div>・その他(</div> <div>・種類：・本畳 ・ビニール畳 ・スタイロ畳</div> <div>・特殊畳床：・無 ・有</div> <div>・種類：・天然木化粧合板</div> <div>・特殊加工合板・メカミン不燃化粧合板</div> <div>・ポリエステル化粧板</div> <div>・プリント合板</div> <div>・その他(キッチンパネル</div> <div>・岩綿吸音板：・下地 ・木製軸組</div> <div>・石膏ボード厚9.5mm</div> <div>・軽鉄下地</div> <div>・その他(</div> <div>・穴あき石膏ボード ：・厚 9.5 mm</div> <div>・穴あきフレキシブルボード：・厚6.0mm ・厚5.0mm</div> <div>・炭酸マグネシウム板 ：・厚 mm</div> <div>・紙製品 ： 級以上</div> <div>・布製品 ： 級以上</div> <div>・ビニール製品： 級以上</div> <div>・石膏ボード ：厚 12.5mm</div> <div>・化粧石膏ボード ：厚 mm</div> <div>・石綿セメント ：厚 mm</div> <div>・ケイ酸カルシウム板 ：厚 12mm</div> <div>・フレキシブルボード ：厚 4mm</div> <div>・フォームポリスチレン：厚 mm</div> <div>・ロックウール ：厚 mm</div> <div>・グラスウール ：厚 120mm(壁) 210mm(屋根)</div> <div>・スタイロフォーム ：厚 50mm(基礎立ち上がり) 100mm(基礎下)</div> <div>・表面材および仕上げ：・銅板 厚さ0.8mm以上+樹脂塗装あるいは樹脂</div> <div>焼付塗装</div> <div>・その他(</div> <div>・工法：・スタッド式 ・パネル一体式 ・パネル分割式</div> <div>・気密試験(プロアーテスト)</div> <div>気密テストを施工直後に行い、C値1.0以下とする。</div> <div>測定箇所 ・監督の指示による ・図示</div> </div>	<div> <div>①一般事項</div> <div>2 舗装</div> <div>3 フェンス</div> <div>4 塀</div> <div>5 境界石</div> <div>6 敷地内排水溝</div> <div>7 植栽</div> </div>	<div> <div>● 工事範囲等は設計図による他、係員の指示によるものとする。</div> <div>・種別：・アスファルト舗装(・ 混合式 ・浸透式)</div> <div>・コンクリート舗装(・有筋 ・無筋 ・溶接金網入)</div> <div>・砂利撒き舗装:切込砂利 mm 撒布砂利 mm</div> <div>・種別：・ネットフェンス ・エキスパンドメタルフェンス</div> <div>・その他(</div> <div>・高さ：H= mm</div> <div>・種別：・万代塀 ・コンクリートブロック塀(穴あき)</div> <div>・その他(</div> <div>・高さ：H= mm</div> <div>・仕上：(</div> <div>・型式：・歩道境界用既製ブロック ・その他(</div> <div>・種別：溝 ・既製U字側溝</div> <div>・既製L字側溝</div> <div>・現場打コンクリート溝</div> <div>・その他</div> <div>蓋 ・コンクリートブロック製</div> <div>・鋼鉄製</div> <div>・その他(SUSグレーチング</div> <div>・植栽:風除け支柱の種類 ・三脚 ・四脚 ・鳥居形</div> <div>・補償期間: 新植、移植および芝張りの補償期間</div> <div>引渡し日より 年間</div> <div>・芝張り: 種別 ・野芝 ・高らい芝 ・その他</div> <div>寄土 ・不要 ・要 mm</div> </div>
1 5 左官工事		1 7 塗装工事		1 9 雑工事			
<div> <div>1 モルタル塗</div> <div>2 防水モルタル壁</div> <div>3 プラスタ壁</div> <div>4 吹付タイル</div> <div>5 リシン吹付</div> <div>6 白セメント</div> <div>7 岩綿吹付</div> <div>8 ひる石吹付</div> <div>9 人造石塗り</div> <div>10 テラゾー現場塗</div> <div>11 塗床材</div> </div>	<div> <div>・モルタルは集塵防止剤、接着剤、防水剤その他の薬和剤を必要に応じて係員と</div> <div>協議の上使用するものとする。</div> <div>・塗厚 内装：・ mm</div> <div>外装：・ mm</div> <div>床：・ mm</div> <div>・防水剤は指定製造会社の製品とし、モルタルの項に準じて仕上げる。</div> <div>割合容積比 セメント:1</div> <div>砂 :2</div> <div>防水剤(製造会社の指定量)</div> <div>・種類：・ドロマイトプラスター ・石膏プラスター</div> <div>・ALC版用プラスター ・その他(</div> <div>・ラスボード：・厚 9.5mm ・厚 7mm ・その他(</div> <div>・種類：・無機質系 ・有機質系 ・その他(</div> <div>・仕上：(</div> <div>・種類：・アクリル系 ・セメント系 ・その他(</div> <div>・仕上：本施工前に見本吹きを行い、吹付回数を決定する。</div> <div>・白セメントにドロマイトプラスター(上塗用)を10%混和水練りしたものを</div> <div>こして使用するものとし、2回吹付とする。</div> <div>・種 類：・吸音用 ・耐火被覆用 ・その他</div> <div>・吹付厚：・10mm ・15mm ・20mm ・25mm</div> <div>・30mm ・その他(</div> <div>・耐火時間：・</div> <div>・色：・着色 ・原色</div> <div>・仕上：・吹付 ・こて押え</div> <div>・種 類：・吸音用 ・その他(</div> <div>・吹付厚：・3mm ・5mm</div> <div>・色：・着色 ・原色</div> <div>・仕上：・吹付 ・かき落し ・こて押え</div> <div>・仕上：・水磨き ・粗磨き ・小叩き ・かき落し</div> <div>・その他(</div> <div>・仕上：・水磨き ・粗磨き ・小叩き ・かき落し</div> <div>・その他(</div> <div>・種 類：・硬質着色床 ・合成樹脂ビニール系</div> <div>・合成樹脂エポキシ系 ・その他(</div> </div>	<div> <div>①一般事項</div> <div>2 防火材料</div> <div>3 合成樹脂・エポキシ ペイント壁</div> <div>4 マスチック塗</div> <div>5 特殊塗料</div> </div>	<div> <div>● 素地調整及び塗装工程は、共通仕様書による。</div> <div>● 塗装業者は、日本塗装工業会会員とする。</div> <div>● 塗膜見本提出</div> <div>● 屋内の壁及び天井の仕上げは基材同等の認定のあるものとする。</div> <div>・浴室・脱衣室・便所・洗面所・湯沸室の天井は一種(外部用)を用いる。</div> <div>・種類：・マスチックA(外部用) ・マスチックB(内部用)</div> <div>・マスチックC(内・外部用)</div> <div>・種類：</div> <div>・使用箇所：</div> </div>	<div> <div>1 室名札階数表示</div> <div>2 郵便受</div> <div>3 照板掲示板</div> </div>	<div> <div>・材質：・プラスチック ・ステンレス ・アルミ</div> <div>・その他(</div> <div>・文字型式：・書き文字 ・彫文字 ・張文字 ・捺き文字</div> <div>・その他(</div> <div>・文字材質：・地と同質 ・シルクスクリーンエナメル</div> <div>・その他(</div> <div>・材質：・ステンレス ・銅板 ・その他 玄関扉に設置</div> <div>・型式：・個別型 ・集合型</div> <div>・材質：・スチール ・アルミ ・ホーロー銅板</div> <div>・その他(</div> <div>・枠：・アルミ ・スチール ・木製</div> <div>・形状：・平面 ・曲面 ・上げ下げ式</div> <div>・映写スクリーン内蔵型</div> <div>・寸法：・W mm×H mm</div> </div>		



屋根伏図 1/200



平面図 1/200



[illegible]

鉄筋コンクリート造配筋基準図(1)

1共通事項

1鉄筋の表示記号

呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38
呼び径(d)	10	13	16	19	22	25	29	32	35	38
表外径(D)	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43

記号

●

×

○

●

○

⊗

⊗

⊗

⊗

⊗

⊗

2鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(1)鉄筋の最小かぶり厚さ

構造部位	最小かぶり厚さ	
	一般部	土に接する部分
床スラブ、屋根スラブ、非耐力壁	20(mm)	40(mm)
柱、梁、耐力壁	30(mm)	40(mm)
基礎、基礎梁、耐圧板	—	80(mm)
地下外壁、擁壁	40(mm)	80(mm)
煙突内面	50(mm)	—

最小かぶり厚さは建築基準法施行令の規定を基にしたもので、露出部分では耐久性の観点から10mm増すこととする。
設計かぶり厚さは施工公差を見込んで、最小かぶり厚さに10mmを増した値とする。
柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合、主筋のかぶり厚さが径の1.5倍以上となるように最小かぶり厚さを定める。
打放し仕上げ部分で寸法の特記がない場合は、構造断面を20(mm)打増す。
打増しコンクリートの厚さは、かぶり厚さには考慮しない。
杭基礎の場合、基礎フーチングの鉄筋のかぶり厚さは杭先端からとする。
貫通孔に接する鉄筋においても、かぶり厚さを確保すること。

(2)鉄筋の最小間隔とあき

鉄筋相互のあきaは下記のうち最大のものとする。
(イ) a = 25(mm)
(ロ) a = 1.25 × 相貫材最大寸法
(ハ) a = 1.5 × d(鉄筋の呼び径)

相貫材の最大寸法	あきの最小値(mm)									
	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38
20(mm)	25				33	38	44	48	53	57
25(mm)	31									

鉄筋の間隔 P = a + D1(鉄筋の最大径)
柱及び梁の主筋が2段以上の場合、下面より鉄筋相互のあきを確保する。

柱

梁

連続筋 dφ

受け筋 D10φ1,000mm

主筋径が大きい場合、本数が多い場合

①1,500mm かつ各層2面以上

3鉄筋の折曲げ基準

(1)フック形状(末端部)

折曲げ角度	詳細	折曲げ内法直径(D)			使用箇所
		SD295A、SD345	D16以下	D19～D38	
180°		3d 以上	4d 以上	5d 以上	柱、梁の出隅部分の重ね継手 柱の隅隅の仕舞 隅隅の主筋 杭基礎のベース筋
135°		3d 以上	4d 以上	—	フープ及びスターラップ スライラル筋 壁筋を確保に使用するD10及びD13 幅止め筋
90°		3d 以上	4d 以上	—	T形、L形梁のスターラップに用いるキャップタイ スラブ筋、壁筋の末端部 幅止めの筋

柱、梁の出隅部分とは、下記の●印の主筋とする。

柱

梁

(2)ベンド形状(中間部)

折曲げ角度	詳細	折曲げ内法直径(D)			使用箇所
		SD295A、SD345、SD390	D16以下	D19～D25	
90°以下		3d 以上	4d 以上	—	フープ及びスターラップ スライラル筋
		4d 以上 (5d 以上)	6d 以上	8d 以上	その他の鉄筋 (スラブ筋、壁筋等)

SD390は、使用箇所がその他の鉄筋の場合に(1)内を適用する。

4. 継手及び定着

(1) 継手及び定着基準

方法	詳細	使用箇所
フック有り		D16以下の鉄筋
フック無し		
あき重ね継手		スラブ筋及び壁筋のみ
ガス圧接継手		D19～D32の鉄筋(柱、梁の主筋等)
溶接継手(アーク溶接)		D16以下及びSD345までの鉄筋(フープ等、特記による)
溶接継手		D19以上の鉄筋(特記による)
鉄筋式継手		特記による
溶接金網の重ね継手		スラブ筋及び壁筋
定着(フック有り)		—
定着(フック無し)		
溶接金網の定着		スラブ筋及び壁筋

- ・(※1)重ね継手で、相互の鉄筋径が異なる場合の重ね継手長さL1は細い方のdによる。
- ・(※2)特殊継手は、平成12年建設省告示第1463号「鉄筋の継手の構造方法を定める件」に適合するものとする。使用箇所は特記によることとし、工法は監理者の承認を得ること。

(2) 継手及び定着長さ

鉄筋種別	Fc(N/mm ²)	フック無し				フック有り			
		L1		L2		L1		L2	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	18	45d	40d	20d	10dかつ150mm以上	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d		30d	25d			
	24～45	35d	30d		25d	20d			
SD345	18	50d	40d	20d	10dかつ150mm以上	35d	30d	10d	—
	21	45d	40d		30d	25d			
	24.27	40d	35d		25d	20d			
SD390	21	50d	40d	20d	10dかつ150mm以上	35d	30d	10d	—
	24.27	45d	40d		30d	25d			
	30～45	40d	35d		25d	20d			

- ・L1・L2、L3以外の定着長さ、継手長さ。
- ・L2：割断継手のおそれない箇所への定着長さ。
- ・L3：小梁及びスラブ下端筋の定着長さ。ただし、耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
- ・末端部のフック長さ(L)は、上表の長さに含まない。
- ・軽量コンクリートの場合、上表の値に5dを加える。

(3)折曲げ定着

- ・全長は(2)の定着長さ以上とする。
- ・投影定着長さは右表のLaまたはLbまたはLcとする。
- ・全長は8d以上とする。
- ・La：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ
- ・Lb：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ
- ・Lc：小梁及び片持梁の下端筋の投影定着長さ
- ・軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

鉄筋種別	Fc(N/mm ²)	La	Lb	Lc
SD295A	18	20d	15d	10d
	21以上	15d	15d	10d
SD345	24.27	20d	20d	10d
	30.33,36	15d	15d	10d
SD390	18.21	20d	20d	10d
	24.27	20d	20d	10d
	30.33,36	20d	15d	10d

2杭 → 杭工事特記仕様書による

3基礎

1基礎フーチングの納まり

(1)独立基礎、連続基礎

A. はかま筋が不要な場合

B. はかま筋が必要な場合

直接定着できる場合

直接定着できない場合

(2)杭基礎

A. 一本杭の場合

B. 二本杭以上の場合

2基礎フーチングと基礎梁の接合部

(1)0<D≦500の場合

(2)500<D≦1,000の場合

2基礎フーチングと基礎梁の接合部

(1)0<D≦500の場合

(2)500<D≦1,000の場合

4基礎梁

1継手位置、定着及び余長

主筋の継手位置は下記の内とする。
基礎梁の連続部で柱に接する梁筋が同数の場合、主筋は柱をまたいで引き通す。
柱をまたいで主筋を引き通すことができない場合は、柱内に定着する。
梁主筋のみ込み長さは柱せい1/2倍以上とする。

(1)独立基礎、杭基礎で基礎梁にスラブが付かない場合

(2)独立基礎、杭基礎で基礎梁にスラブが付く場合

(3)連続基礎、べた基礎で地反力を受ける場合

2スターラップ

(1)形状及びサブ・スターラップ(中子筋)

A. 梁せいが1,500mm未満の場合 → 6.2～(1)、(2)による。

B. 梁せいが1,500mm以上の場合

梁の上下端にスラブが付く場合に限り、以下の形状も可能とする。
木は、90°フック(⊗印)側にスラブが付く場合にのみ可能とする。
へで、重ね継手の代わり特殊継手を用いる場合は監理者の承認を得ること。

3腹筋及び幅止め筋

梁せい(mm)	段数	腹筋	幅止め筋
D<600		不要	
600≦D<900	1	2～D10	
900≦D<1,200	2	4～D10	
1,200≦D<1,500	3	6～D10	
1,500≦D<1,800	4	8～D13	

梁せいが上表を超える場合、梁せい300mmごとに1段(2～D13)を加える。
筋節幅間は、梁の第一スターラップから30mm程度つきだしてスターラップに結束する。

4打増し補強筋

軸方向の補強筋は下記の通りとする。
(1) a<70mm の場合：不要
(2) 70mm≦a≦200mm の場合：D18、鉄筋同士のあき P≦150mm
ただし、打増し部に耐力壁(耐震壁、土圧壁)が取付く場合で、壁筋がD19以上の場合は壁筋と同径以上とする。
(3) a>200mm の場合：梁主筋と同径、鉄筋同士のあき P≦150mm
・梁の打増し部分に取り合う梁、壁、スラブの鉄筋の定着長さは打増し部分を除いて算定する。

5杭芯ずれに対する補強方法

下型(口断面)

上型(口断面)

側面(口断面)

二方向

1柱・梁

柱への打込みは行わないこと。コンセント・ボックスなどを設置する場合は柱断面を打増し、5.3に従って補強筋を配筋すること。
梁に打込む場合は、事前に監理者の承認を得ること。

見附駅周辺整備計画図

有限会社 アトリエ・ワン 一級建築士事務所 東京都知事登録第46278号
〒160-0018 東京都新宿区須賀町8-79 tel/03-3226-5336 fax/03-3226-5366

一級建築士 玉井洋一 第336929号 国土交通大臣

有限会社 金箱構造設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第36591号
一級建築士 金箱温春 第122854号 国土交通大臣

RC基準図

A1:s= - , A3:s= -

200821

S-02

鉄骨基準図(1)

1. 一般事項

(1) 共通事項

- 鉄骨詳細図と本基準との間に違いが生じている場合は、鉄骨詳細図を優先とする。また、詳細図に明示のない部分については、全て本基準図に準拠すること。
- 本基準に記載のない事項は、「JASS6」「鉄骨工事技術指針」(日本建築学会)による。

(2) 製作一般

- 選定した鉄骨製作工場は、監理者の承認を受ける。
- 鉄骨製作および施工に先立ち、「鉄骨工事施工要領書」を提出し監理者の承認を受ける。

(3) 使用材料

- 使用材料はJIS規格品または(社)日本建築センターの評定・評価を取得した材料とする。
- 鋼材の材質表示は、下記の記号または特記による。

材質	SS400	SN400A	SN400B	STK400	SN490A	SN490B	STK490
記号	無印	□	Ⓚ	無印	○	Ⓚ	○

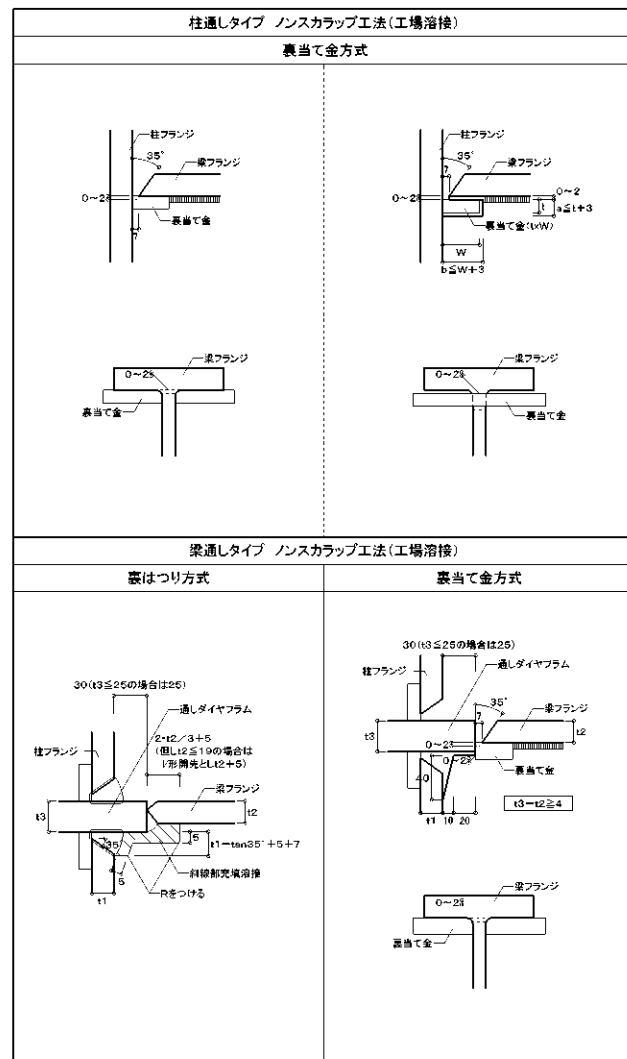
(4) ボルト接合

- 本締めするボルトと、仮締めボルトとを併用しないこと。
- ボルト表示は、下記の記号または特記による。

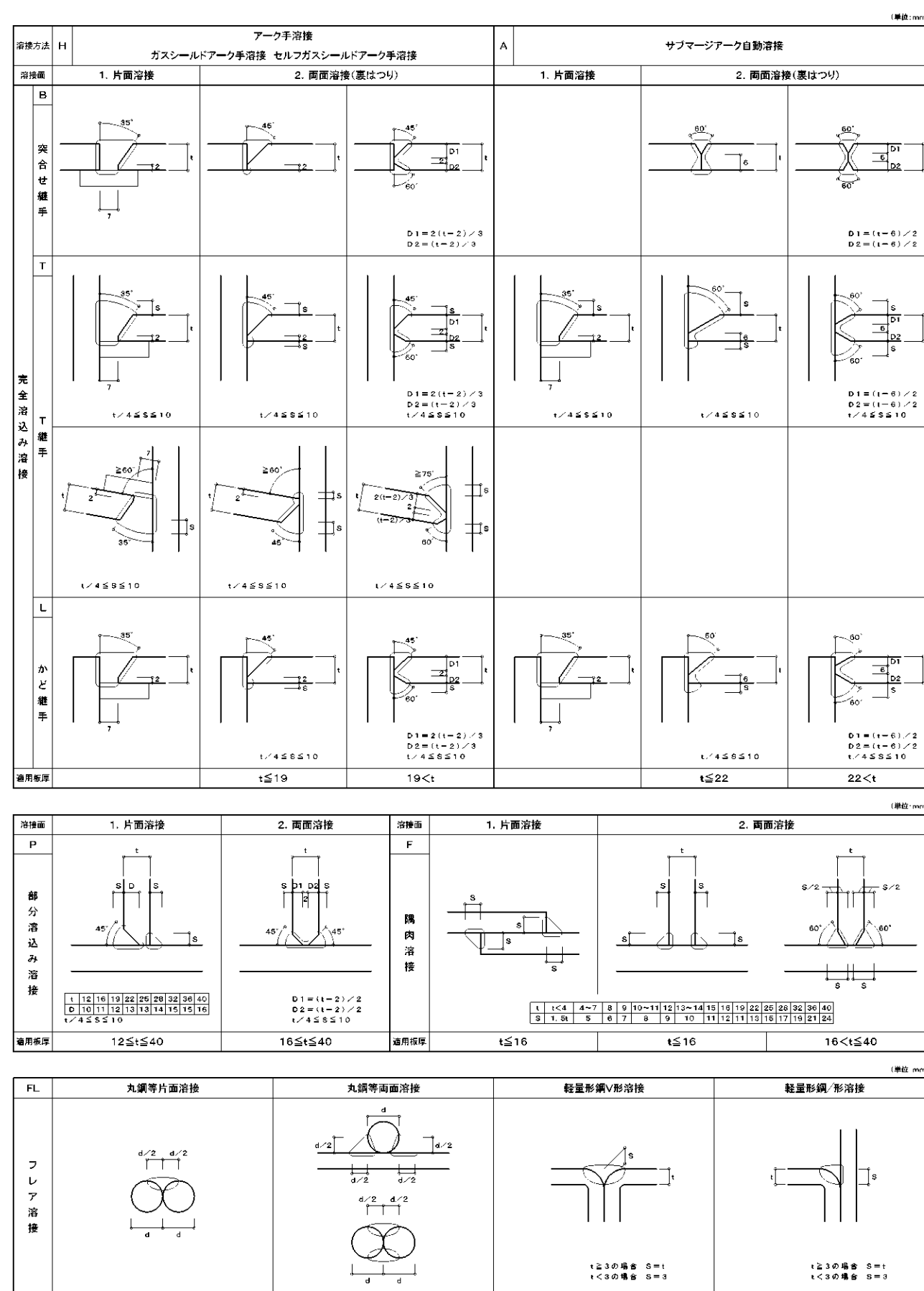
ボルト径(呼び)	現場HTB	工場HTB	中ボルト
M16	※	※	※
M20	※	+	+
M22	※	+	+
M24	※	+	+

2. ノンスカラップ工法

- 原則として、ノンスカラップ工法とする(ノンスカラップ製作要領書を提出すること)。

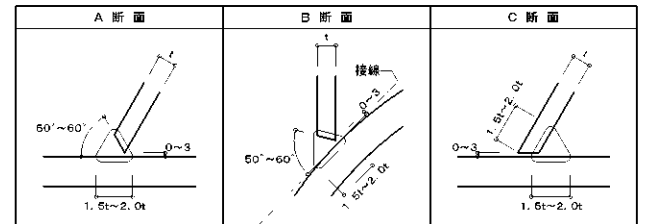
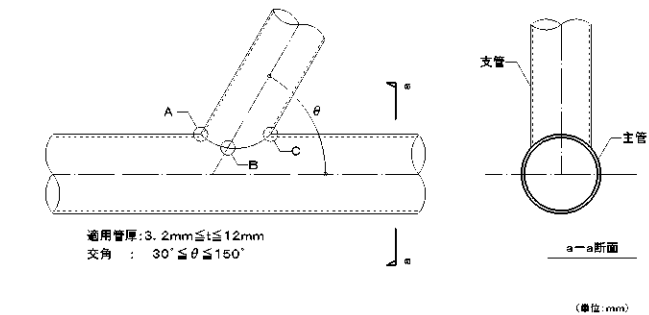


3. 開先規準



4. 鋼管分岐継手

- 主管の管軸と支管の管軸は一致させること。



5. 溶接の製作目標値

- 余盛高さおよび完全溶込み溶接T継手の補強隅肉溶接の製作目標値は、下記による。

余盛高さ	補強隅肉溶接
突合せ溶接	T継手
隅肉溶接	
溶接部寸法許容差	

6. 溶接部の寸法許容差

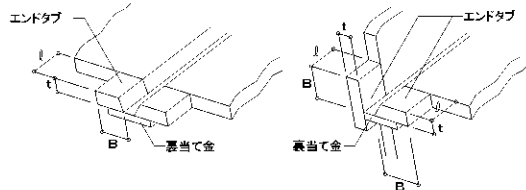
ダイヤフラムとフランジのずれ	突合せ継手の食違い	アンダーカット
溶接部寸法許容差	溶接部寸法許容差	溶接部寸法許容差

- 溶接部の寸法許容差を越える部分がある場合には監理者と協議後「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(建築研究所監修)」により補強を行うこととする。

鉄骨基準図(2)

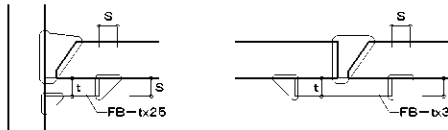
7. エンドタブ・裏当て金および裏はつり

- ・完全溶込み溶接は原則として、エンドタブを使用する。ただし、回し溶接等により健全な溶接部が得られると認められる場合は、省略することができる。
- ・鋼製エンドタブおよび裏当て金の材質は、母材と同等以上のものを用い、エンドタブの寸法形状は下記を標準とする。



溶 接 方 法	L	エ ン ド タ ブ	
		B	t
手 溶 接	35以上	30～50	母材と同厚
半 自 動	38以上		
自 動	70以上		

- ・片面溶接に用いる裏当て金の溶接は、下記要領で補強隅肉溶接を行なう。

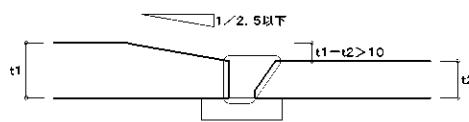


裏当て金の厚さ (単位: mm)		溶接のサイズ (単位: mm)	
溶 接 方 法	t	裏 当 て 金 の 厚 さ	S
手 溶 接	6以上	t ≤ 9	5
半 自 動	9以上	9 < t	9
自 動	12以上		

- ・完全溶込み溶接における両面溶接は、原則として裏はつりを行なう。ただし、自動溶接において、完全溶込みが超音波探傷試験等で確認できる場合は、裏はつりを省略することができる。

8. 溶接部分の段差

- ・突合せ継手において、突合せする部材の板厚の差が10mmを超える場合は、表面の形が緩やかに移行するように余盛をする。

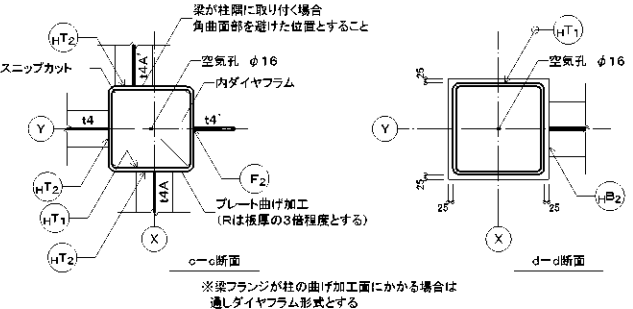
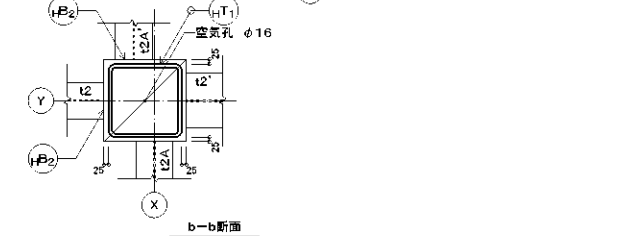
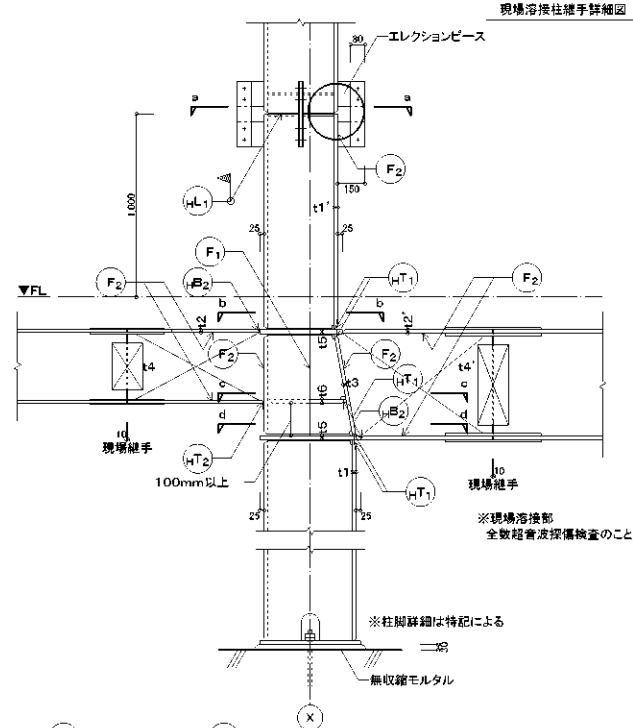
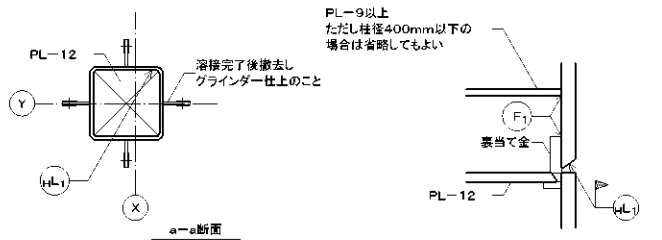


9. その他溶接加工一般

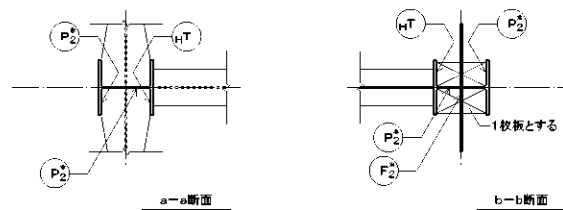
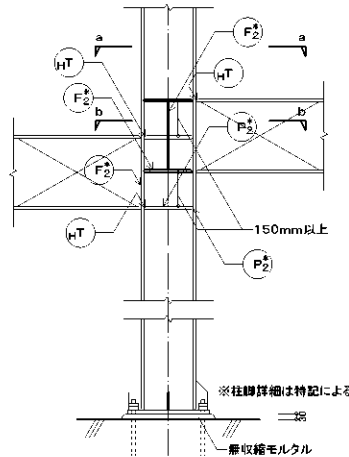
- ・組立溶接のビートの間隔は、300mm～400mm程度とする。
- ・やむを得ず開先内に組立溶接を行わなければならない場合は、本溶接後の品質が十分に確保できる方法とする。
- ・溶接は適当な治具を使用し、原則として下向きで行う。
- ・溶接部は溶接に先立ち、水分・油・スラグ・塗装・錆等の溶接に支障となるものを除去する。ただし、溶接に支障のないミルスケールおよび塗料は除去しなくてもよい。
- ・溶接棒は常に乾燥した場所に保管し、必要に応じ乾燥器に入れ乾燥させる。
- ・溶接による変形や収縮については、なるべくこれを少なくするように適切な対策を立て、出来上がり寸法・形状を正確に保つようにする。
- ・隅肉溶接の端部は回し溶接を行う。
- ・工事現場においては母材をいためるような仮設ビース等の取付溶接は行わない。

10. 仕口部の溶接

- ・材質は、取り付く梁フランジ材および柱材のうち、強度および溶接性の最も優れたものと同等以上のものとする。
- ・板厚は以下の通りとする。
 - t3: 上下の柱材の板厚 (t1・t1') 以上で、かつ寄り合う梁のウェブ板厚 (t4・t4A) 以上とする。
 - ただし、段違い梁が取り付く場合は、上記かつ梁フランジ板厚 (t2) 以上とする。
 - t5: 寄り合う梁フランジ板厚 (t2・t2A・...) のうち最大の板厚の2サイズアップでかつt3以上とする。
 - t6: 寄り合う梁フランジ板厚1サイズアップでかつt3の板厚の1サイズアップ以下とする。



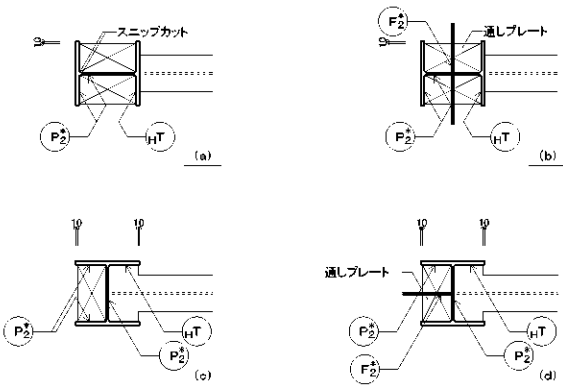
11. 仕口部の溶接(H形鋼)



- F2*: ウェブ厚が16mm以上のものについてはP2とする。
- P2*: 水平スチフナ厚が12mm以下の場合はF2とする。

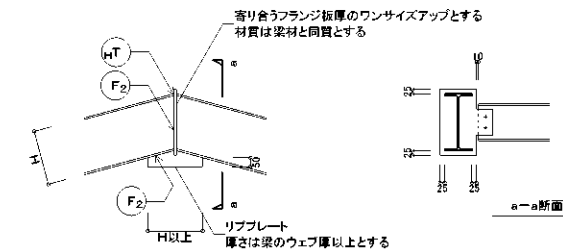
12. 水平スチフナ

- 仕口部に設ける水平スチフナの形状および大きさは下記を標準とする。材質は梁フランジ材と同一のものとし、板厚は梁フランジ厚以上とする。



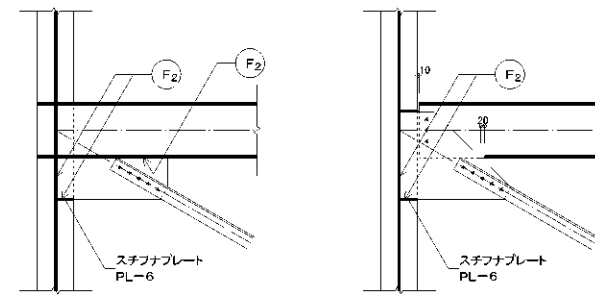
- F2*: ウェブ厚が16mm以上のものについてはP2とする。
- P2*: 水平スチフナ厚が12mm以下の場合はF2とする。

13. 山形ラーメン棟部分

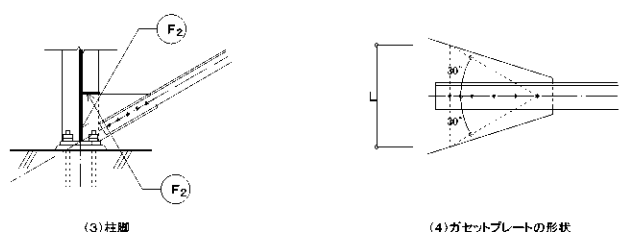


14. 鉛直ブレース仕口

- ・柱、梁およびガセットプレートの部材芯は、原則として一致させる。
- ・ガセットプレートの幅は、材端ボルト位置で図(4)に示すLの長さを確保することを原則とする。



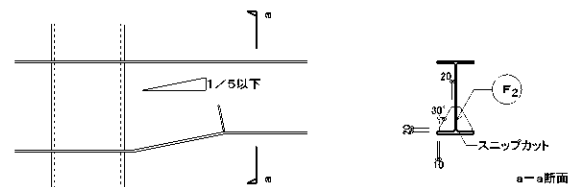
- (1) 柱頭(梁が剛接合の場合)
- (2) 柱頭(梁がピン接合の場合)



- (3) 柱脚
- (4) ガセットプレートの形状

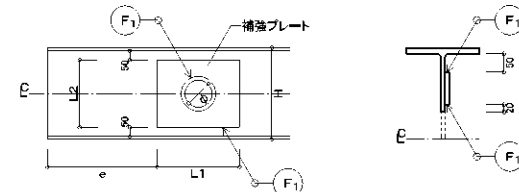
15. 梁ハンチ

- ・梁にハンチを設ける場合は、下図のリブプレートを設ける。材質、板厚は梁ウェブに同じとする。



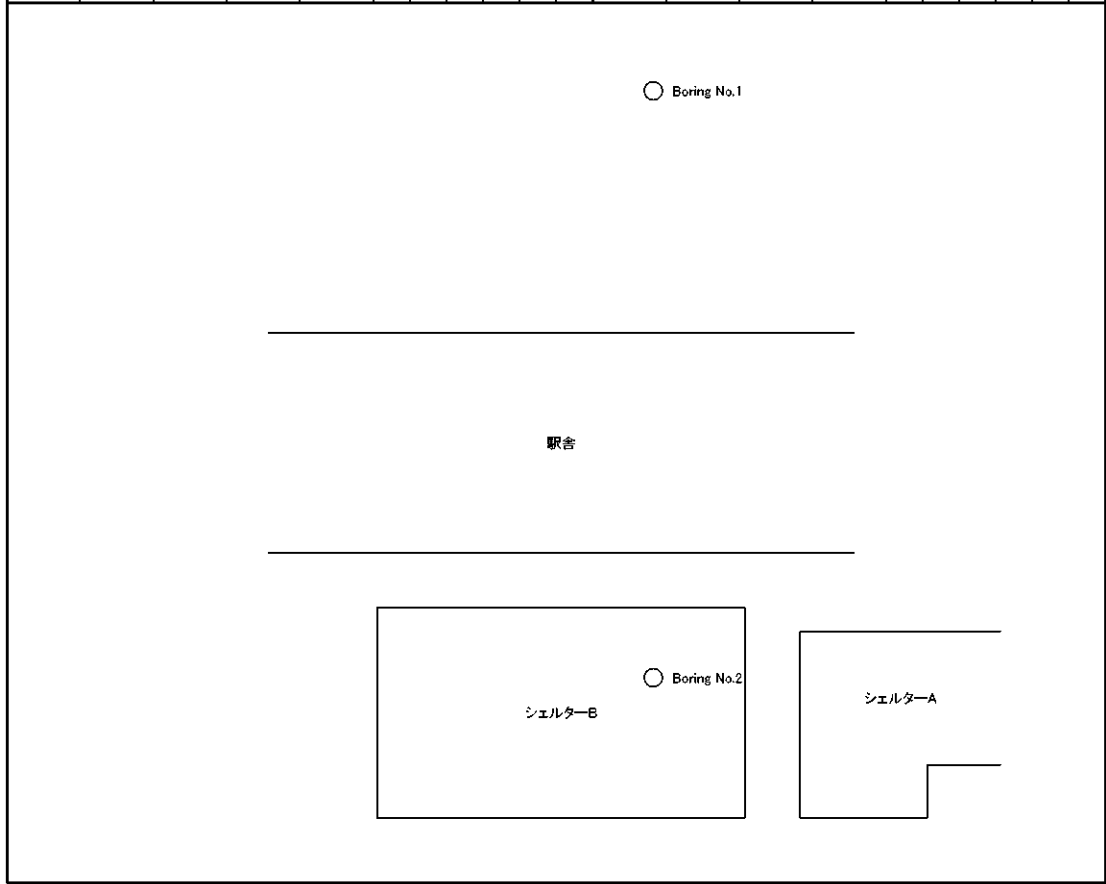
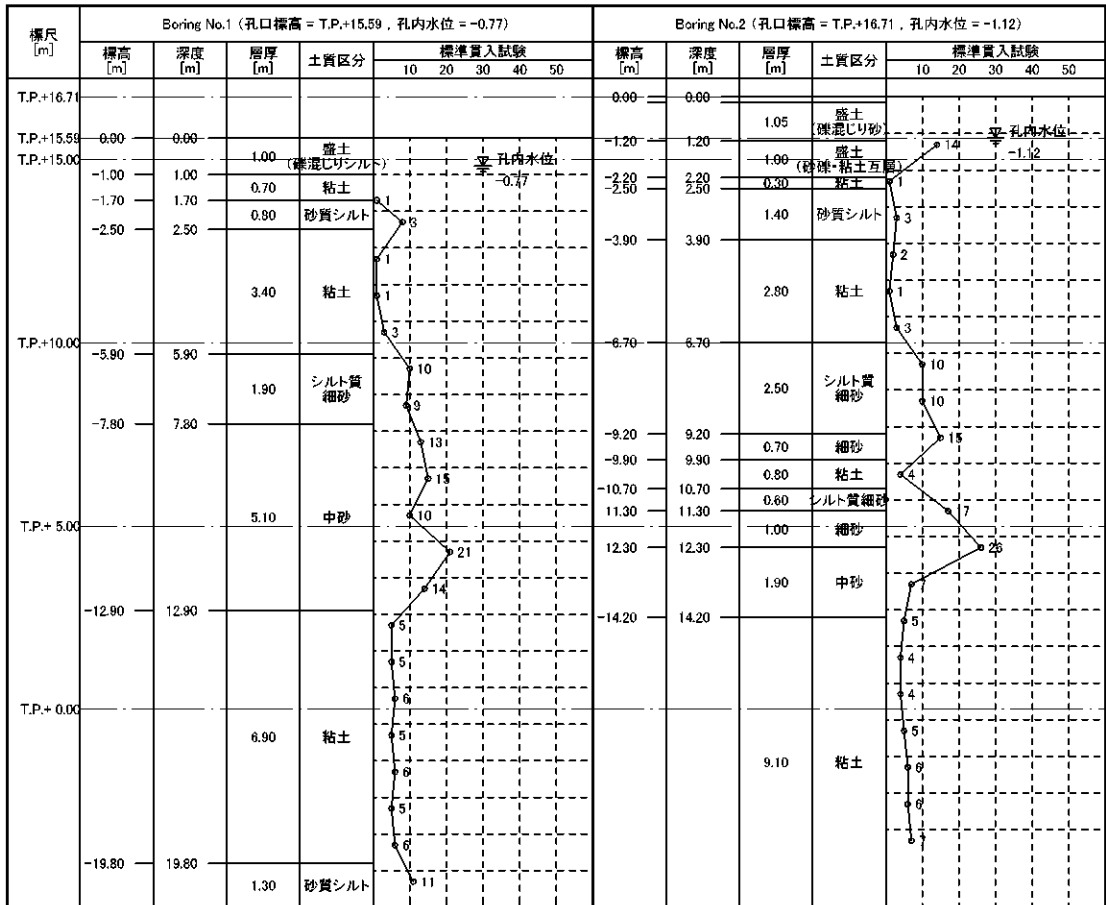
16. 梁貫通孔の補強

- ・梁貫通孔の内径寸法φはH/2 (H: 鉄骨せい) 以下とする。
- ・梁貫通孔位置は、原則として中心位置を柱面より2H+φ/2以上離すこと。
- ・梁貫通孔のピッチは、隣り合う貫通孔の平均径の3倍以上とする。
- ・梁貫通孔の補強方法は、原則として補強プレート法とする。



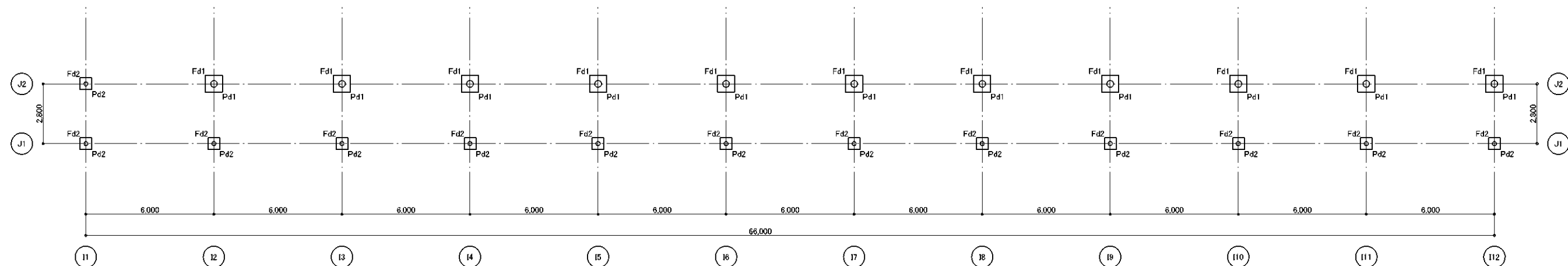
- (注)・L1は3φまたはL2のうち小さい方とする。
- ・L2は図示寸法とする。
- ・補強プレートの厚さは特記による。
- ・補強プレートの厚さが16mm以上となる場合は、必要な厚さの1/2の補強プレートを、ウェブ両面から溶接する。
- ・鉄骨のひずみ矯正上、材端の補強プレートとの間隔eはe ≥ Hとすることが望ましい。
- ・補強プレートは丸形としてもよい。また、上下フランジとのあき(50mm)については、施工性を考慮し小さくすることができる。

地盤柱状図



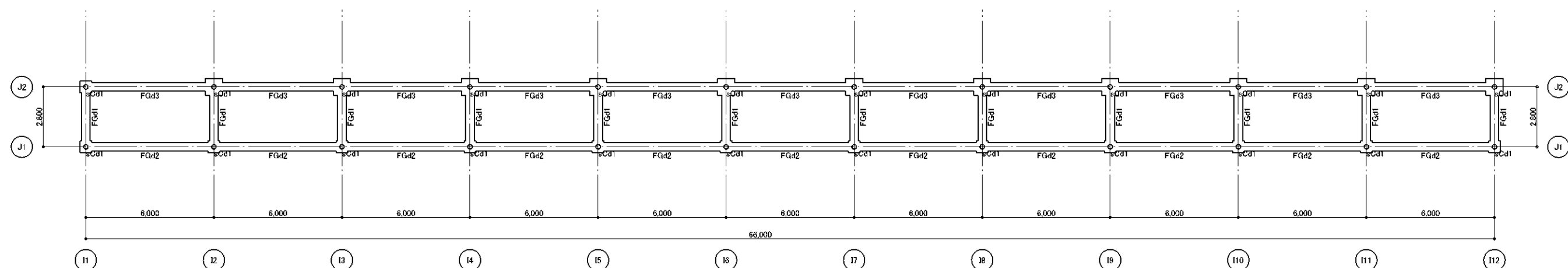
杭工事特記仕様書

符号	Pd1	Pd2	杭工事特記仕様書
姿図			<p>1.工法</p> <ul style="list-style-type: none">・回転貫入鋼管杭による「G-ECS PILE 工法」とする。認定年月日 令和元年7月23日認定番号 TACP-0585認定書 国住指第755号指定書 国住指第755-2号性能評価書 BCJ基研-FD0124-04 <p>2.支持層</p> <ul style="list-style-type: none">・T.P.+8.5m程度のシルト質細砂層とする。 <p>3.試験杭</p> <ul style="list-style-type: none">・試験杭位置は最初に施工する1本とする。 <p>4.掘入れ深さ</p> <ul style="list-style-type: none">・杭先端の支持層への掘入れ深さは1Dp以上とする。・上記を満たさない場合や、想定より深い位置に強固な支持地盤が存在して掘削が困難となり高止まりする場合は直ちに監理者に報告し、協議する。 <p>5.施工精度</p> <ul style="list-style-type: none">・杭芯ずれの許容値は±100mmとする。・掘切り後、杭芯ずれを測定し監理者へ報告する。 <p>6.杭頭処理方法</p> <ul style="list-style-type: none">・杭頭補強筋のフーチング内への定着長さは40dとする。・杭頭補強筋は鋼管杭に対して等間隔に配置し、両側フレア溶接とする。・杭頭補強筋の溶接長は100mmとする。・杭頭はフーチング内に150mmのみこませる。・中詰めコンクリートの深さは杭径以上とする。・中詰めコンクリートは躯体と同等強度とする。
杭種	STK400	STK400	
杭径	φ 318.5	φ 190.7	
板厚	6.9	5.3	
杭長	6.0m	6.0m	
本数	11本	13本	
杭頭補強筋	4 - D16	4 - D13	
長期許容支持力	298kN	114kN	



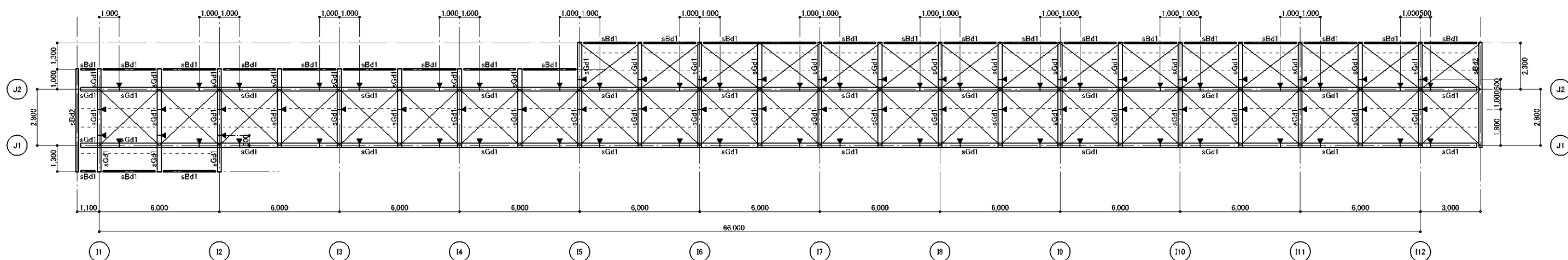
杭伏図

・SGL=T.P.+15.89
・基礎天端=SGL-250



基礎伏図

・基礎梁天端=SGL-250



屋根伏図

➡ は鉄骨梁の継手位置を示す。
--- は水平ブレースを示す。
... は母屋を示す。
水平ブレース：ターンバックル付きブレース M-20 (SN400B)
母屋：□-125×75×3.2 #10 (SS400)

有限会社 金箱構造設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第36591号
一級建築士 金箱温春 第122854号 国土交通大臣

伏図

A1:s=1/100, A3:s=1/200

200821

S-12

基礎リスト

- ・地業は捨てコン(t=50)、敷砂利(t=80)とする。
- ・基礎は鉄骨柱脚の柱形を兼用する。

符 号		Fd1	Fd2
B×D×H		800×800×900	550×550×900
断 面			
	X	4-D16	3-D16
	Y	4-D16	3-D16
	X	2-D13 @150	2-D13 @150
	Y	2-D13 @150	2-D13 @150

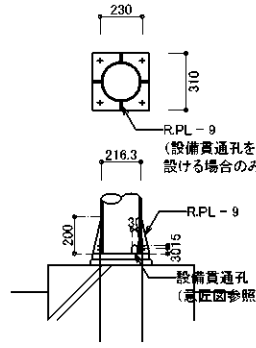
基礎梁リスト

- ・地業は捨てコン(t=50)、敷砂利(t=80)とする。
- ・幅止筋はD10 @1,000とする。

符 号		FGd1	FGd2	FGd3	
位 置		全 断 面	全 断 面	両 端	中 央
b × D		400×700	400×700	400×700	400×700
断 面					
	上 端	4/2-D16	4-D16	4/2-D18	4-D16
	下 端	4/2-D16	4-D16	4/2-D18	4-D16
	S T P	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10

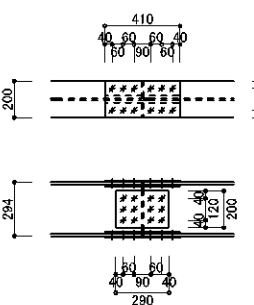
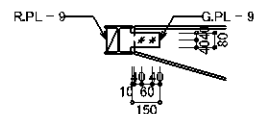
鉄骨柱リスト

- ・通しダイヤフラムの材質はSN490Cとする。
- ・露出柱脚のアンカーボルトは二重ナットによりゆるみ止めをする。

符 号	sCd1
鋼 種	STKN400B
断 面	φ - 216.3×7.0
柱 脚 詳 細	
製品名・型式	ハイベースNEO, EM 216 - 4 - 24
ベースプレート	PL - 310×310×32 (HCW490b)
アンカーボルト	4 - M24 (HAB)
ベースモルタル	無収縮モルタル t30

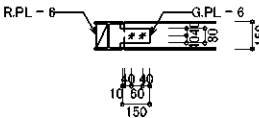
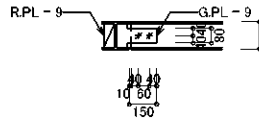
鉄骨大梁リスト

- ・SPLの材質は母材と同等以上とする。
- ・RPLおよびGPLの材質はSS400とする。

符 号		sGd1	
鋼 種		SN400B	
断 面		H - 294 × 200 × 8 × 12 剛接合	H - 294 × 200 × 8 × 12 ピン接合
接 合 部 詳 細			
Flange	PL	2S.PL - 9 × 200 × 410 , 4S.PL - 9 × 80 × 410	
	HTB	24 - M20	
Web	PL	2S.PL - 9 × 200 × 290	
	HTB	12 - M20	
		R.P.L - 9 , G.P.L - 9	
		2 - M20	

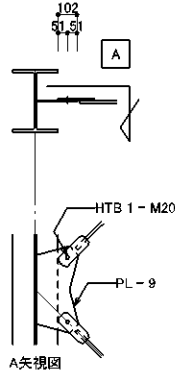
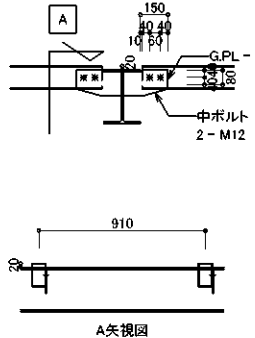
鉄骨小梁リスト

- ・SPLの材質は母材と同等以上とする。
- ・RPLおよびGPLの材質はSS400とする。

符 号		sBd1	sBd2
鋼 種		SS400	SS400
断 面		H - 150 × 75 × 5 × 7 ピン接合	H - 150 × 150 × 7 × 10 ピン接合
接 合 部 詳 細			
Flange	PL	-	-
	HTB		
Web	PL	R.P.L - 6, G.P.L - 6	R.P.L - 9, G.P.L - 9
	HTB	2 - M20	2 - M20

その他リスト

- ・RPLおよびGPLの材質はSS400とする。

位 置	水平ブレース	母屋
鋼 種	SS400	STKR400
断 面	M - 20 (ターンバックル付き)	□ - 125×75×3.2 @910
断 面 詳 細		

共通事項

- ・特記無き鉄骨部材の材質はすべてSS400とする。
- ・特記無き鉄骨部材はすべて溶融亜鉛メッキ処理とする。
- ・高力ボルトは溶融亜鉛メッキボルト(F8T)とし、摩擦面接合面はリン酸亜鉛処理とする。
- ・完全溶込み溶接部の裏当て金およびエンドタブは除去する。
- ・現場溶接後の溶接部は常温メッキ処理とする。

見附駅周辺整備計画図

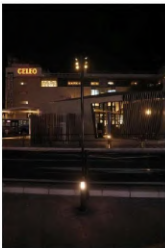


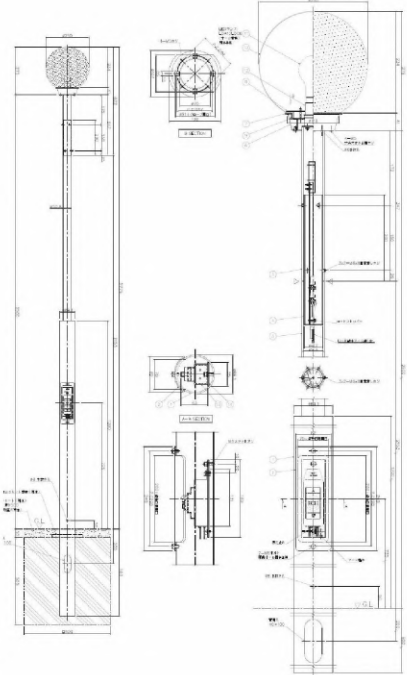
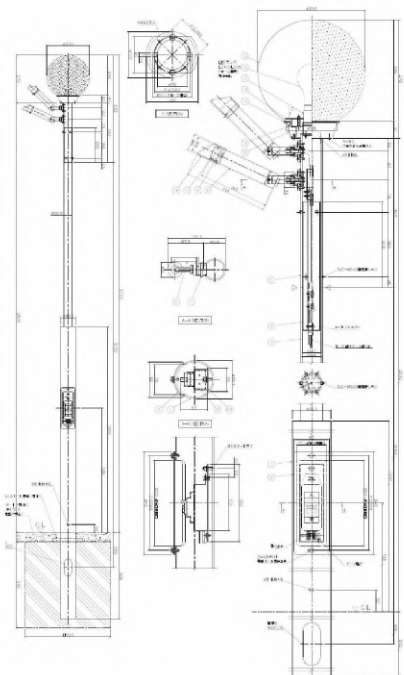
電気設備

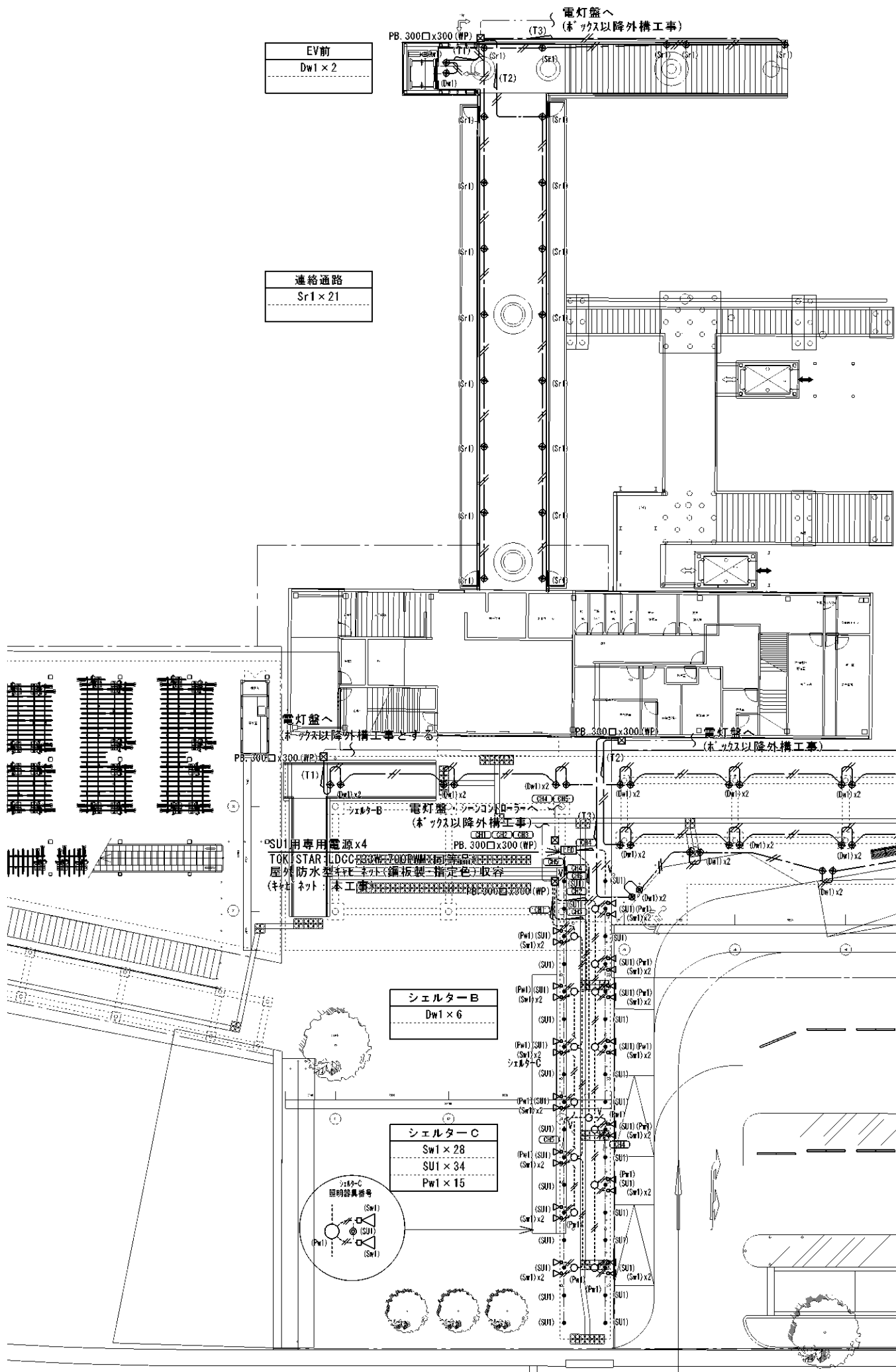
図面リスト

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E－００	図面リスト	N・S	EB－０１	特記仕様書	N・S
EA－０１	照明器具姿図（１）	N・S	EB－０２	電灯盤結線図	N・S
EA－０２	照明器具姿図（２）	N・S	EB－０３	幹線・動力・通信設備 1階平面図	S=1/150
EA－０３	電灯設備 駅前広場(上屋)平面図	S=1/500	EB－０４	幹線・動力・通信設備 2階平面図	S=1/150
EA－０４	電灯設備 駅前広場(地上)平面図	S=1/500	EB－０５	照明器具姿図	N・S
EA－０５	電灯設備 送迎用駐車場平面図	S=1/300	EB－０６	電灯設備 1階平面図	S=1/150
EA－０６	電灯設備 シェルターD平面図	S=1/200	EB－０７	電灯設備 2階平面図	S=1/150
EA－０７	電灯設備 駅前広場(地上)平面図（２）	S=1/500	EB－０８	コンセント設備 1階平面図	S=1/150
			EB－０９	コンセント設備 2階平面図	S=1/150
			EB－１０	映像音響設備 姿図・平面図	S=1/150
			EB－１１	自動火災報知設備 凡例・注記・系統図	N・S
			EB－１２	自動火災報知設備 1階平面図	S=1/150
			EB－１３	自動火災報知設備 2階平面図	S=1/150

[illegible]

照明器具姿図

器具番号	P w 4	P w 4 C	P w 6
小組・図	<div><p>山田照明 LEDスポット+フード φ28 4.1W×4 (指定色塗装)</p><p>TG-437・W4400</p><p>山田照明 AD-3228-L + TG-437</p><p>山田照明 AD-3200-L</p><p>ポール (指定色塗装) φ≒50</p><p>GL +≒2500</p><p>GL +≒600</p><p>φ100</p><p>特注仕様① ガラス部分 フロストからクリアへ変更</p><p>特注仕様② グローブ内に半円形遮光板設置 (光源のグレア軽減)</p><p>特注仕様③ 光源調整 既製品光源 (LED7.2W) から 場所に合わせてランプを変更 低Wランプ (4W) とする</p><p>アイリスオーヤマ LDA4L-G-E17-FC</p></div>	<div><p>山田照明 LEDスポット+フード φ28 4.1W×4 (指定色塗装)</p><p>TG-437・W4400</p><p>山田照明 AD-3228-L + TG-437</p><p>山田照明 AD-3200-L</p><p>アイリスオーヤマ LED4W LDA4L-G-E17-FC</p><p>ポール (指定色塗装) φ≒50</p><p>GL +≒2500</p><p>GL +≒600</p><p>φ100</p><p>特注仕様① ガラス部分 フロストからクリアへ変更</p><p>特注仕様② グローブ内に半円形遮光板設置 (光源のグレア軽減)</p><p>特注仕様③ 光源調整 既製品光源 (LED7.2W) から 場所に合わせてランプを変更 低Wランプ (4W) とする</p><p>アイリスオーヤマ LDA4L-G-E17-FC</p></div>	<div><p>山田照明 LEDスポット+フード φ28 4.1W×6 (指定色塗装)</p><p>TG-437・W4400</p><p>山田照明 AD-3228-L + TG-437</p><p>山田照明 AD-3200-L</p><p>アイリスオーヤマ LED4W LDA4L-G-E17-FC</p><p>ポール (指定色塗装) φ≒50</p><p>GL +≒2500</p><p>GL +≒600</p><p>φ140</p><p>特注仕様④ 庭園灯部には外部電源用意</p><p>特注仕様② グローブ内に半円形遮光板設置 (光源のグレア軽減)</p><p>樹木などの照射もスポット首振り可能</p></div>
名称	庭園灯+ポールスポット4 灯	庭園灯+ポールスポット4 灯 庭園灯足元外部コンセントつき	庭園灯+ポールスポット6 灯 庭園灯足元外部コンセントつき
メーカー/品番	山田照明 特注	山田照明 特注	山田照明 特注
器具番号	P P 1	P P s 1	
小組・図	<div><p>特注器具問い合わせ先 山田照明(株) 担当上林様 080-4078-2903 y.kamibayashi@yamada -shomei.co.jp</p></div>	<div><p>特注器具問い合わせ先 山田照明(株) 担当上林様 080-4078-2903 y.kamibayashi@yamada -shomei.co.jp</p></div>	
名称	送迎用駐車場ポール灯(ポール型灯具拡散光源のみ)	送迎用駐車場ポール灯(ポール型灯具拡散光源+スポット2灯)	
メーカー/品番	山田照明 特注	山田照明 特注	



凡 例 表					
記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤			照明器具 (座間灯)	(照明器具委図参照)
	ハンドホール	寸法は傍記による。		照明器具 (座間灯+ホ-ルライト1灯)	(照明器具委図参照)
	ブルボックス	寸法は傍記による。 WP: 防水・銅板製 指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (ホ-ルライト+ホ-ルライト12灯)	(照明器具委図参照)
	1個用露出型ライトボックス (器具取付用)	指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (ホ-ルライト+ホ-ルライト4灯)	(照明器具委図参照)
	露出型ライト	指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (クワッド式ホ-ルライト)	(照明器具委図参照)
	照明器具 (ダウンライト)	(照明器具委図参照)		照明器具 (ペンダントライト)	(照明器具委図参照)
	照明器具 (アップライト)	(照明器具委図参照)		照明器具 (スタンドライト)	(照明器具委図参照)
	照明器具 (アップライト)	(照明器具委図参照)		照明器具 (ブラケットライト)	(照明器具委図参照)
	照明器具 (ラインライト)	(照明器具委図参照)			
	照明器具 (フットライト)	(照明器具委図参照)			
	照明器具 (スポットライト)	(照明器具委図参照)			
	照明器具 (スポットライト)	(照明器具委図参照)			
	照明器具 (船舶照明)	(照明器具委図参照)			

注 記

1. 特記なき配管記号は下記とする。

EM-CE5. 5-30 (内107-ス) 30ガシ
EM-CE5. 5-20×2 (内107-ス) 30ガシ
EM-CE5. 5-20+30 (内107-ス) 30ガシ

EM-CE5. 5-30 (内107-ス) (G22) 露出部
EM-CE5. 5-20×2 (内107-ス) (G36) 露出部
EM-CE5. 5-20+30 (内107-ス) (G36) 露出部

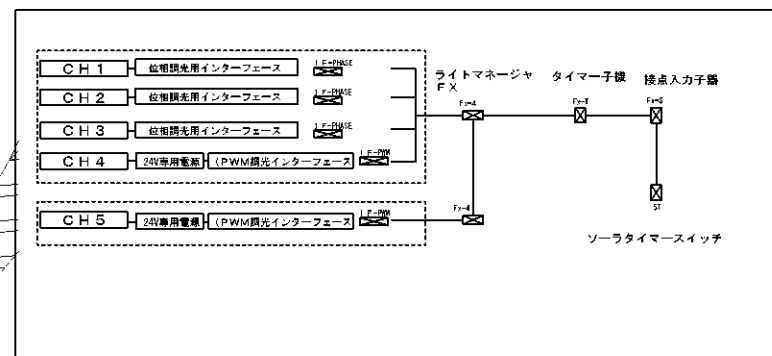
EM-CE5. 5-30 (内107-ス) (FEP30) 地中埋設配線
EM-CE5. 5-20×2 (内107-ス) (FEP40) 地中埋設配線
EM-CE5. 5-20+30 (内107-ス) (FEP40) 地中埋設配線

EM-00CT0. 75-20 (G16)
器具SU1用中間サ-ド (5m) * 本工事

* 二重天井内はケーブルころがしとする。
* ケーブル配線で壁立下げ及び貫通部は、適合する保護管にて保護をする事。
* 電圧は200Vとする。

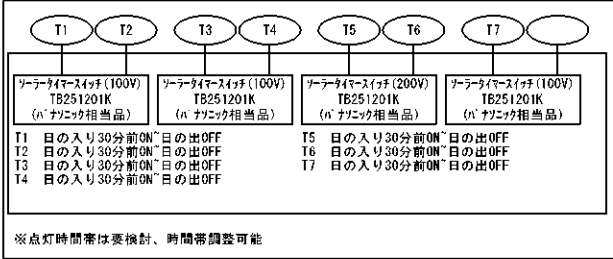
特記事項

- ・ シェルターCにはボリュウム上部にイベント時対応の為、外部電源回路を用意する
シェルターC照明制御イメージ
- ・ シーン制御器により、夜、夜②、深夜、イベント時など照明シーンを記憶し、自動再生。
- ・ シーン制御器の設置箇所の検討必要



配線配管・電源供給・シーン制御器その他必要機器一式は外構工事とする

・ 室内タイマースイッチ制御系統



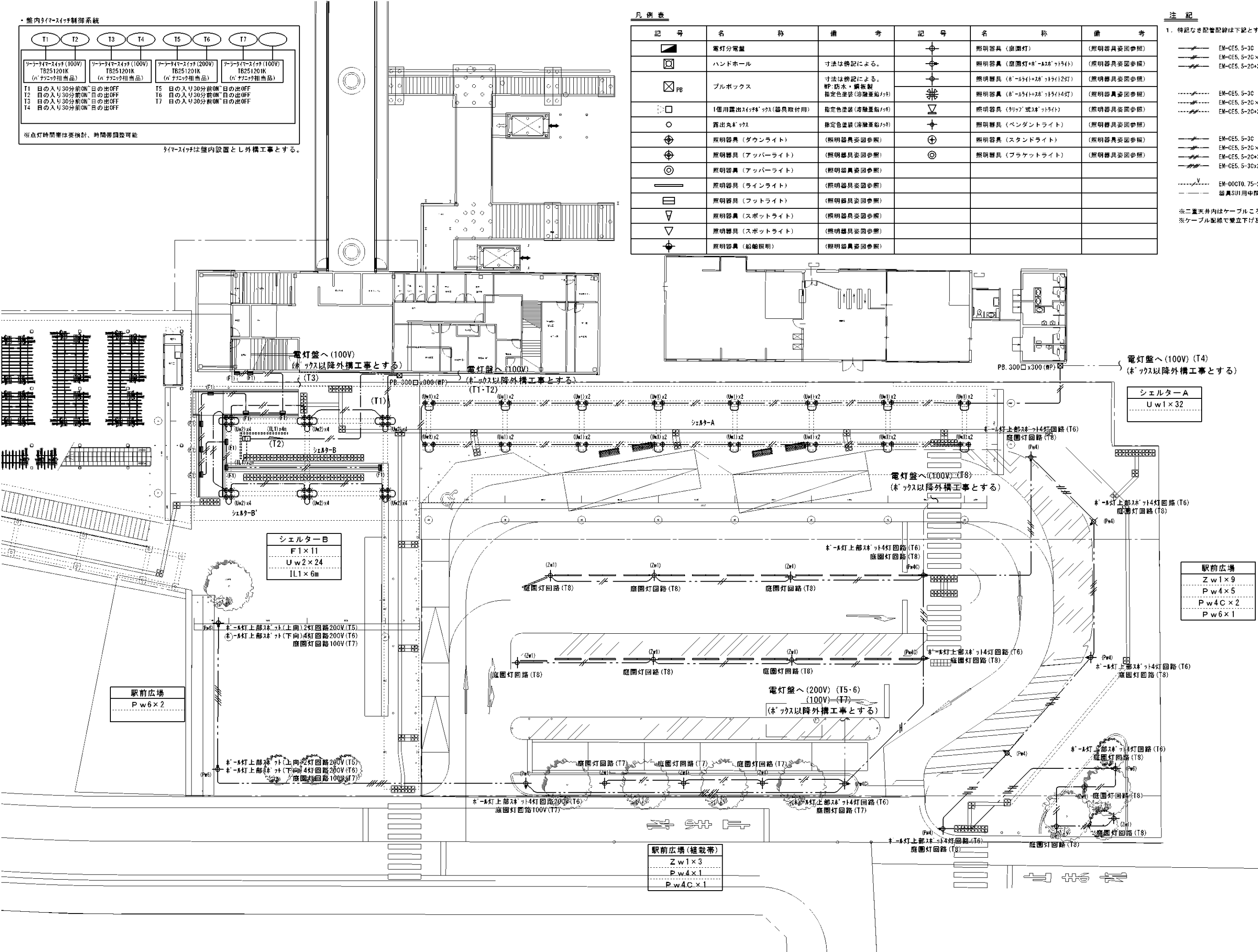
タイマースイッチは壁内設置とし外構工事とする。

凡 例 表

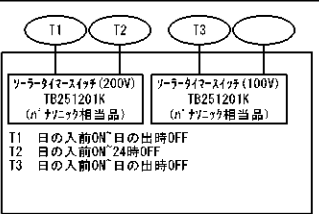
記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
■	電灯分電盤		⊙	照明器具 (座間灯)	(照明器具変換参照)
□	ハンドホール	寸法は傍記による。	⊙	照明器具 (座間灯+ホ-8灯+タライト)	(照明器具変換参照)
⊗	プルボックス	寸法は傍記による。 WP: 防水・銅板製 指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)	⊙	照明器具 (ホ-8灯+ホ-8灯+タライト)	(照明器具変換参照)
□	1個用露出スイッチボックス (器具取付用)	指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)	⊙	照明器具 (ホ-8灯+ホ-8灯+タライト)	(照明器具変換参照)
○	露出ホ-8灯	指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)	⊙	照明器具 (タライト+ホ-8灯+タライト)	(照明器具変換参照)
⊙	照明器具 (ダウンライト)	(照明器具変換参照)	⊙	照明器具 (ペンダントライト)	(照明器具変換参照)
⊙	照明器具 (アップライト)	(照明器具変換参照)	⊙	照明器具 (スタンドライト)	(照明器具変換参照)
⊙	照明器具 (アッパーライト)	(照明器具変換参照)	⊙	照明器具 (フラットライト)	(照明器具変換参照)
—	照明器具 (ラインライト)	(照明器具変換参照)			
—	照明器具 (フットライト)	(照明器具変換参照)			
▽	照明器具 (スポットライト)	(照明器具変換参照)			
▽	照明器具 (スポットライト)	(照明器具変換参照)			
⊙	照明器具 (船舶照明)	(照明器具変換参照)			

注 記

1. 特記なき配管記号は下記とする。
- EM-CE5. 5-3C (内107-A) コダシ
 - EM-CE5. 5-2C×2 (内107-A) コダシ
 - EM-CE5. 5-2C×3C (内107-A) コダシ
 - EM-CE5. 5-3C (内107-A) (G22) 露出部
 - EM-CE5. 5-2C×2 (内107-A) (G36) 露出部
 - EM-CE5. 5-2C×3C (内107-A) (G36) 露出部
 - EM-CE5. 5-3C (内107-A) (FEP30) 地中埋設配線
 - EM-CE5. 5-2C×2 (内107-A) (FEP40) 地中埋設配線
 - EM-CE5. 5-2C×3C (内107-A) (FEP40) 地中埋設配線
 - EM-CE5. 5-3C×2 (内107-A) (FEP40) 地中埋設配線
 - EM-00CT0. 75-2C (G16)
 - 器具SUI用中間+1' (5m) * 本工事
- ※二重天井内はケーブルころがしとする。
※ケーブル配線で壁立下げ及び貫通部は、適合する保護管にて保護をする事。



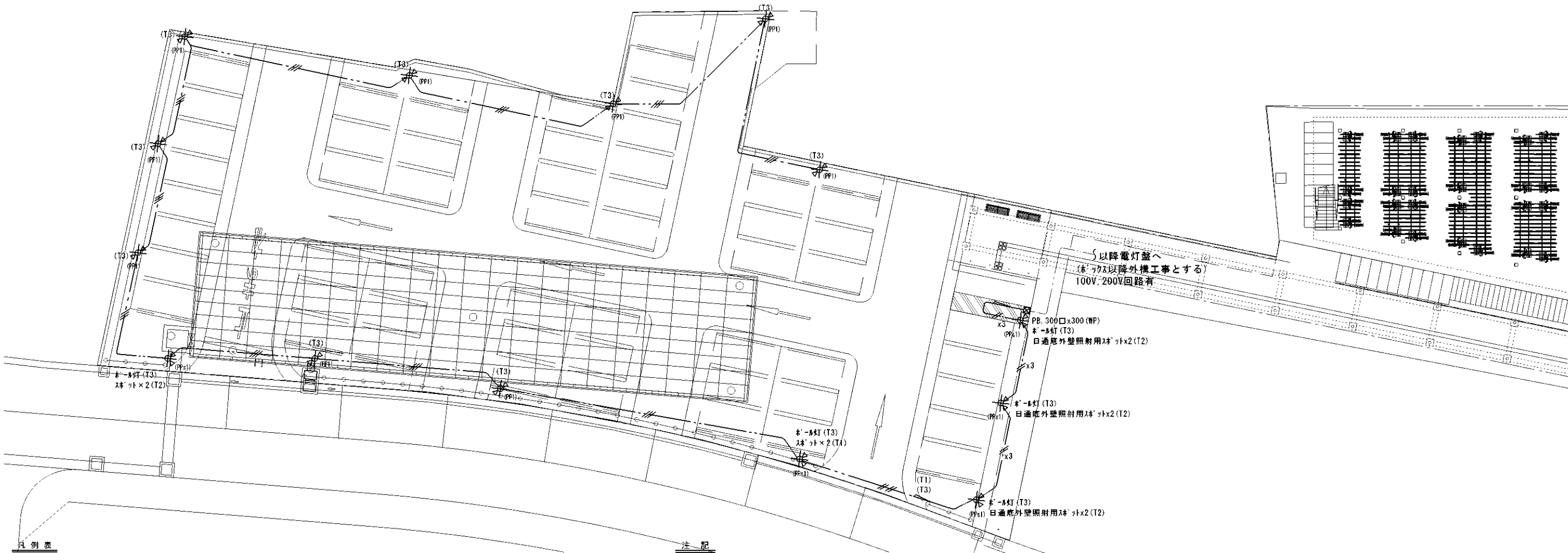
・室内タイマースイッチ制御系統



※点灯時間帯は要検討、時間帯調整可能

タイマースイッチは室内設置とし外構工事とする。

駐車場
PP1 × 9
PPs1 × 5



凡 例 表

記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤			照明器具 (庭園灯+LEDスポットライト)	(照明器具委図参照)
	ハンドホール	寸法は傍記による。		照明器具 (LEDスポットライト2灯)	(照明器具委図参照)
	ブルボックス	寸法は傍記による。 WP: 防水・鋼板製 指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (LEDスポットライト4灯)	(照明器具委図参照)
	スイッチボックス	指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (クリップ式スポットライト)	(照明器具委図参照)
	照明器具 (ダウンライト)	(照明器具委図参照)		照明器具 (ペンダントライト)	(照明器具委図参照)
	照明器具 (アップライト)	(照明器具委図参照)		照明器具 (スタンドライト)	(照明器具委図参照)
	照明器具 (アップライト)	(照明器具委図参照)		照明器具 (ブラケットライト)	(照明器具委図参照)
	照明器具 (ラインライト)	(照明器具委図参照)			
	照明器具 (フットライト)	(照明器具委図参照)			
	照明器具 (スポットライト)	(照明器具委図参照)			
	照明器具 (スポットライト)	(照明器具委図参照)			
	照明器具 (船舶照明)	(照明器具委図参照)			
	照明器具 (庭園灯)	(照明器具委図参照)			

注 記

1. 特記なき配管配線は下記とする。

- EM-CES, 5-3G (内107-ス) (622)露出部
- EM-CES, 5-2C×2 (内107-ス) (636)露出部
- EM-CES, 5-2C×3C (内107-ス) (636)露出部
- EM-CES, 5-3C×2 (内107-ス) (636)露出部

- EM-CES, 5-3G (内107-ス) (FEP30) 地中埋設配線
- EM-CES, 5-2C×2 (内107-ス) (FEP40) 地中埋設配線
- EM-CES, 5-2C×3C (内107-ス) (FEP40) 地中埋設配線
- EM-CES, 5-3C×2 (内107-ス) (FEP40) 地中埋設配線

※器具PP1・PPs1内スポット器具は200V回路とする。

2. 送迎用駐車場でイベントスペースとしての使用時には外部電源の準備も検討要 (外構工事)

凡 例 表

記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤			照明器具 (座間灯+点滅ライト)	(照明器具図参照)
	ハンドホール	寸法は傍記による。		照明器具 (点滅ライト+点滅ライト2灯)	(照明器具図参照)
	ブルボックス	寸法は傍記による。 WP: 防水・銅板製 指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (点滅ライト+点滅ライト4灯)	(照明器具図参照)
	スイッチボックス	指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (クリップ式スポットライト)	(照明器具図参照)
	照明器具 (ダウンライト)	(照明器具図参照)		照明器具 (ペンダントライト)	(照明器具図参照)
	照明器具 (アップライト)	(照明器具図参照)		照明器具 (スタンドライト)	(照明器具図参照)
	照明器具 (アップライト)	(照明器具図参照)		照明器具 (ブラケットライト)	(照明器具図参照)
	照明器具 (ラインライト)	(照明器具図参照)			
	照明器具 (フットライト)	(照明器具図参照)			
	照明器具 (スポットライト)	(照明器具図参照)			
	照明器具 (スポットライト)	(照明器具図参照)			
	照明器具 (船舶照明)	(照明器具図参照)			
	照明器具 (庭園灯)	(照明器具図参照)			

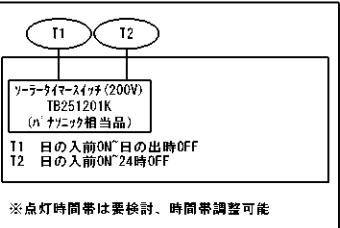
注 記

1. 特記なき配管記号は下記とする。

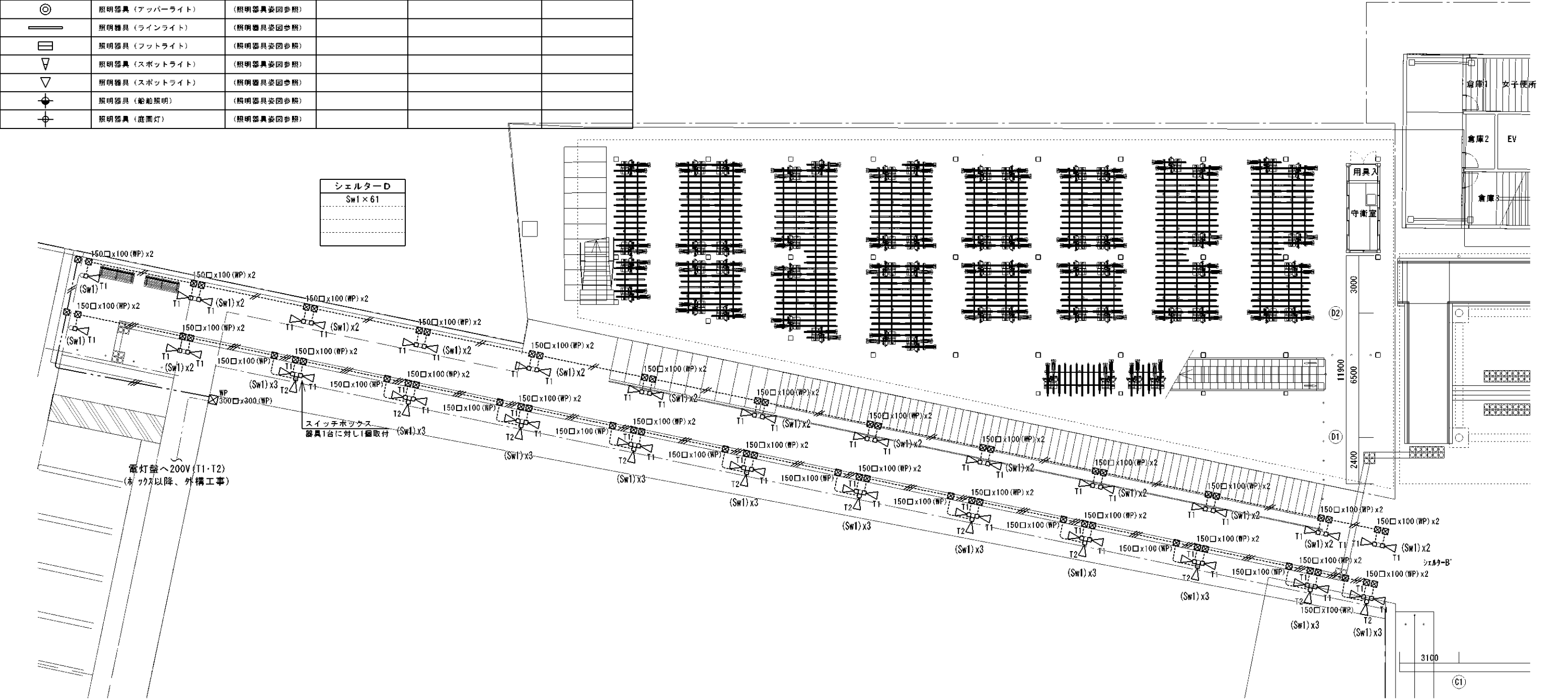
-----	EM-CE5, 5-3C	(内1C7-ス)	(G22) 露出部
-----	EM-CE5, 5-2C×2	(内1C7-ス)	(G36) 露出部
-----	EM-CE5, 5-2C×3C	(内1C7-ス)	(G36) 露出部
-----	EM-CE5, 5-3C×2	(内1C7-ス)	(G36) 露出部
-----	EM-CE5, 5-3C	(内1C7-ス)	(FEP30) 地中埋設配線
-----	EM-CE5, 5-2C×2	(内1C7-ス)	(FEP40) 地中埋設配線
-----	EM-CE5, 5-2C×3C	(内1C7-ス)	(FEP40) 地中埋設配線
-----	EM-CE5, 5-3C×2	(内1C7-ス)	(FEP40) 地中埋設配線

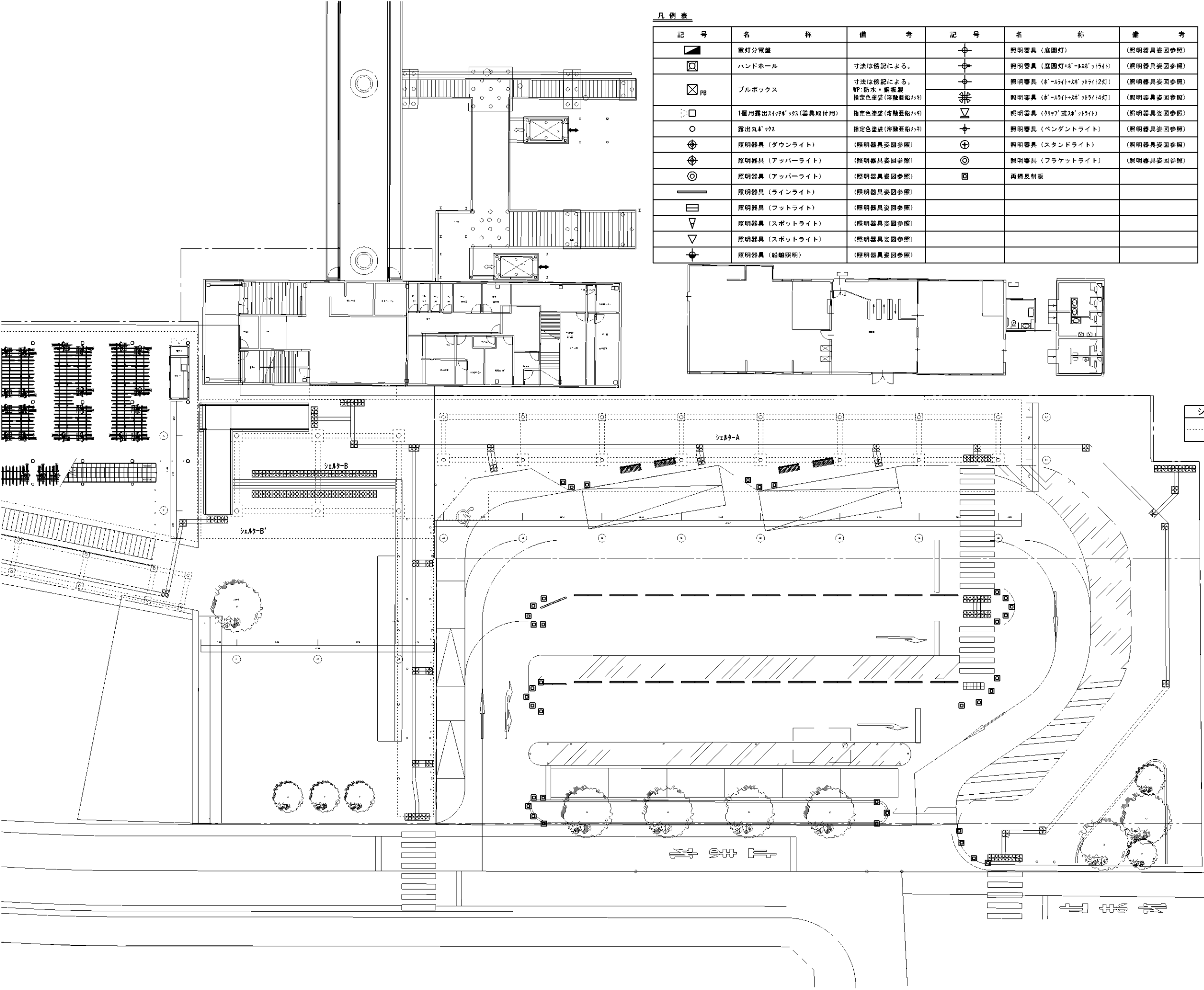
※200V回路とする。

・壁内タイマースイッチ制御系統



タイマースイッチは室内設置とし外構工事とする。





凡 例 表

記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤			照明器具 (座間灯)	(照明器具変換参照)
	ハンドホール	寸法は傍記による。		照明器具 (座間灯+※-※※'ットライト)	(照明器具変換参照)
	プルボックス	寸法は傍記による。 ※P: 防水・銅板製 指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (※-※ライト+※※'ットライト2灯)	(照明器具変換参照)
	1個用露出スイッチ'ッス (器具取付用)	指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (※-※ライト+※※'ットライト4灯)	(照明器具変換参照)
	露出丸'ッス	指定色塗装 (溶融亜鉛メッキ)		照明器具 (クリップ'式※※'ットライト)	(照明器具変換参照)
	照明器具 (ダウンライト)	(照明器具変換参照)		照明器具 (ペンダントライト)	(照明器具変換参照)
	照明器具 (アッパライト)	(照明器具変換参照)		照明器具 (スタンドライト)	(照明器具変換参照)
	照明器具 (アッパライト)	(照明器具変換参照)		照明器具 (ブラケットライト)	(照明器具変換参照)
	照明器具 (ラインライト)	(照明器具変換参照)		再帰反射板	
	照明器具 (フットライト)	(照明器具変換参照)			
	照明器具 (スポットライト)	(照明器具変換参照)			
	照明器具 (スポットライト)	(照明器具変換参照)			
	照明器具 (船舶照明)	(照明器具変換参照)			

注 記

1. 特記なき配管配線は下記とする。
- EM-CES. 5-3C (内107-ス) コダシ
 - EM-CES. 5-2G×2 (内107-ス) コダシ
 - EM-CES. 5-2G×3C (内107-ス) コダシ
 - EM-CES. 5-3C (内107-ス) (G22) 露出部
 - EM-CES. 5-2G×2 (内107-ス) (G36) 露出部
 - EM-CES. 5-2G×3C (内107-ス) (G36) 露出部
 - EM-CES. 5-3C (内107-ス) (FEP30) 地中埋設配線
 - EM-CES. 5-2G×2 (内107-ス) (FEP40) 地中埋設配線
 - EM-CES. 5-2G×3C (内107-ス) (FEP40) 地中埋設配線
 - EM-CES. 5-3G×2 (内107-ス) (FEP40) 地中埋設配線
 - EM-00CT0. 75-2C (G16)
 - 器具SU1用中間'ット (5m) * 本工事
- ※二重天井内はケーブルころがしとする。
※ケーブル配線で壁立下げ及び貫通部は、適合する保護管にて保護をする事。

シェルター-A
U S 1 × 6

駅前広場
U S 1 × 31

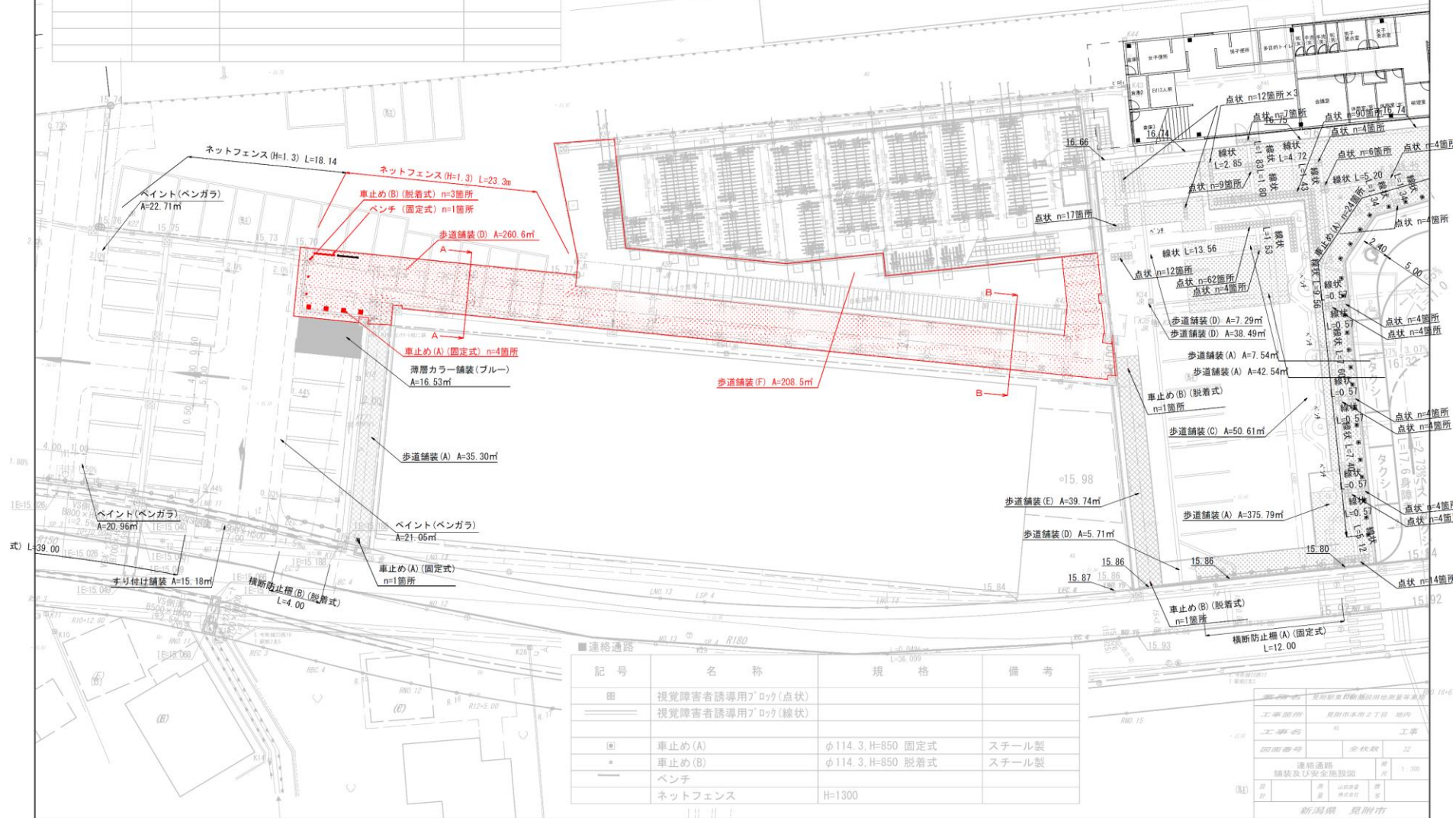


令和 5 年度 建工第 4 5 号
見附駅周辺整備（東口側連絡通路設置）工事

**【造成関連】
設計図面**

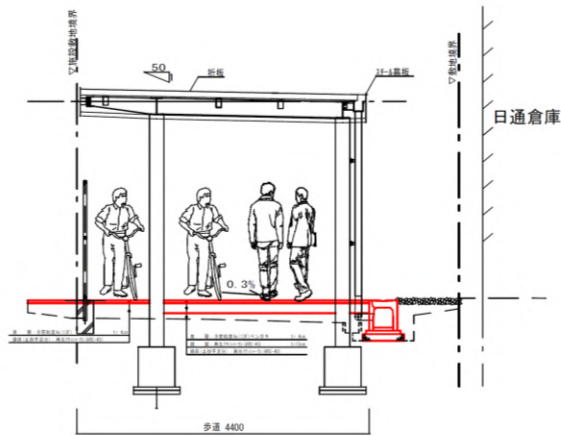
見附市都市環境課

S=1 : 300



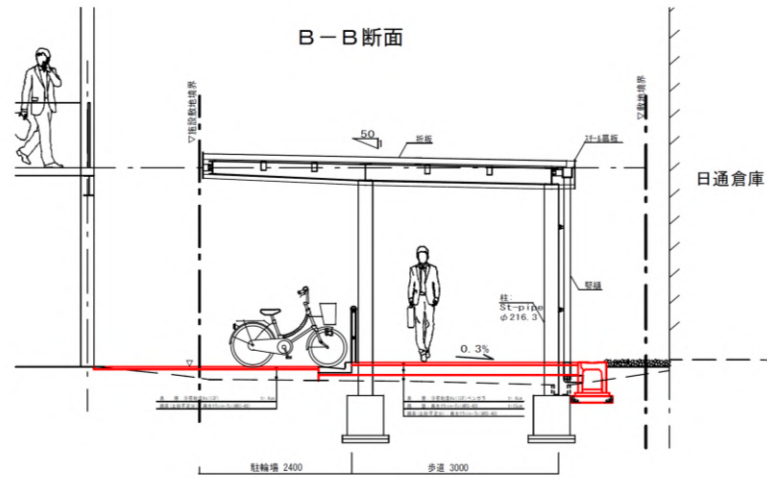
連絡通路標準断面図 S=1:50

A-A断面



工種	数量		施工箇所
	延 効	変 更	
As補強工	1.0m		駐輪場側
	3.4m		連絡通路内 (ベンガラ)
路盤工	3.4m		連絡通路内
埋戻工	0.7m ²		駐輪場側
	0.6m ²		連絡通路内

B-B断面

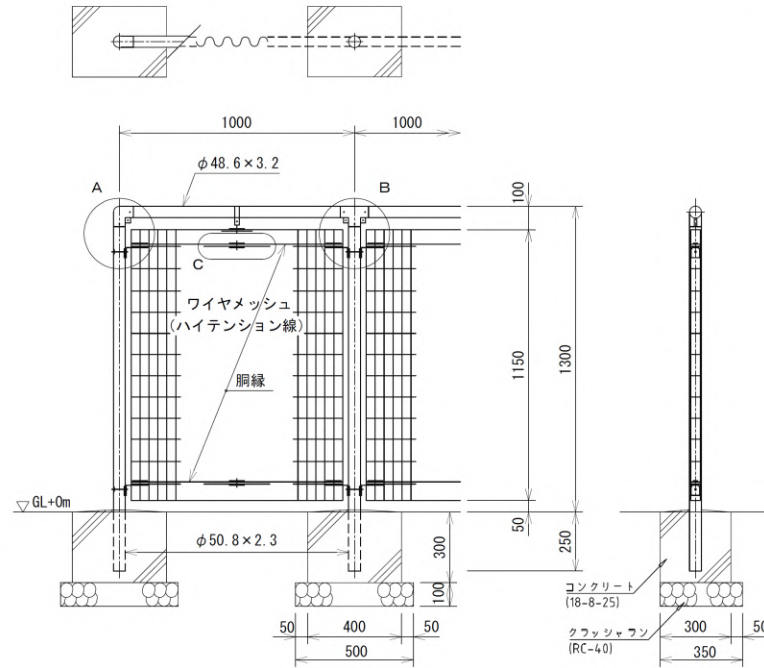


工種	数量		施工箇所
	延 効	変 更	
As補強工	3.4m		駐輪場側
	3.4m		連絡通路内 (ベンガラ)
路盤工	3.4m		連絡通路内
埋戻工	0.4m ²		駐輪場側
	0.6m ²		連絡通路内

安全施設構造図(1)

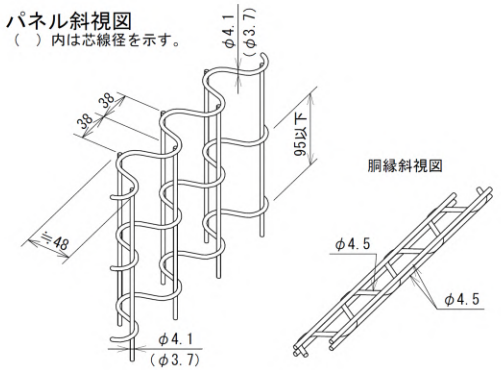
ネットフェンス(H=1300)

S=1:20



パネル斜視図

() 内は芯線径を示す。



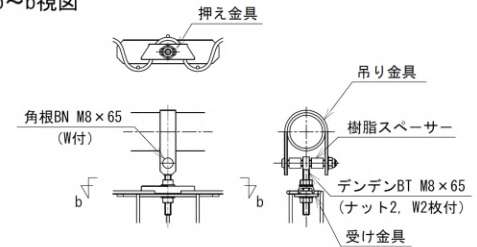
胴縁斜視図



吊り金具取付図

S=1:6

b~b'視図



設計条件

- 風荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
- 雪荷重・・・積雪深さ2.5m以下(雪密度0.45t/m³)
荷重は沈降圧のみとする。
- 尚、風荷重と雪荷重の組合わせは行わない。
- 基礎条件・・・長期許容地耐力 9.8kN/m²(1.0t/m²)
凍土深さは考慮していません。

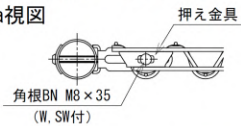
備考

- 外装について
 - 主柱、笠木、押え金具ジョイント(※木ジョイントは除く)・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 - ワイヤメッシュ胴縁・・・亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 - 笠木端ジョイント吊り金具・・・溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 - ボルト、ナット・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし一部のボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみ

A部取付図

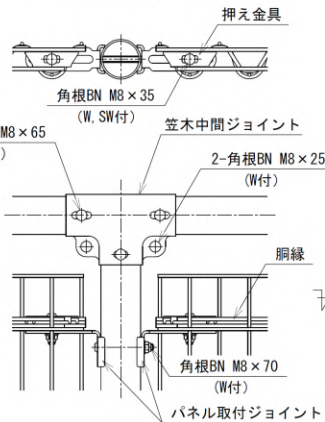
S=1:6

a~a'視図



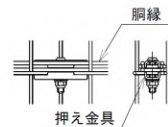
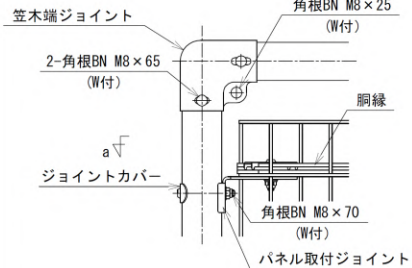
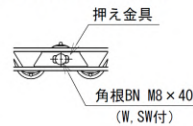
B部取付図

S=1:6



C部取付図

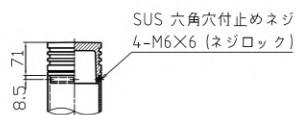
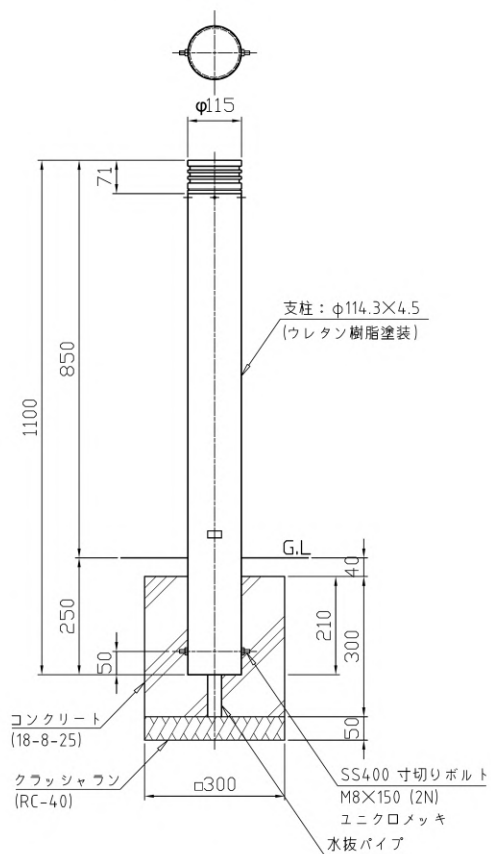
S=1:6



実施者名	見附駅東口周辺施設用地測量等業務
工事箇所	見附市本所2丁目 地内
工事名	工事
図面番号	全枚数
安全施設構造図(1)	
設計	山田建設株式会社
監理	山田建設株式会社
施工	山田建設株式会社
新潟県 見附市	

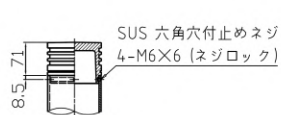
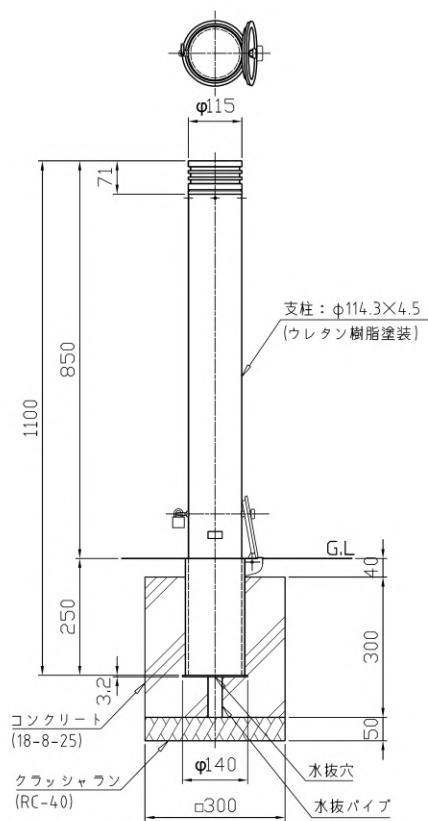
安全施設構造図(2)

車止め (A) S=1:10
(H=850, 固定式)

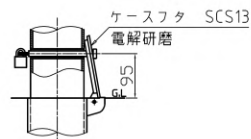


支柱頂部詳細図 S=1:10

車止め (B) S=1:10
(H=850, 脱着式)



支柱頂部詳細図 S=1:10

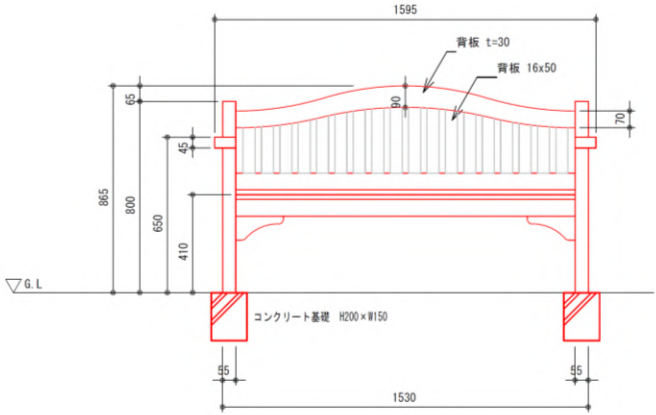


施錠部詳細図 S=1:10

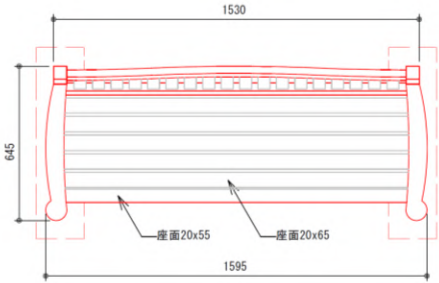
図面番号	全枚数	図示
安全施設構造図(2)		
設計	測量	図示
測量	図示	
図示		
新潟県 見附市		

安全施設構造図(3)

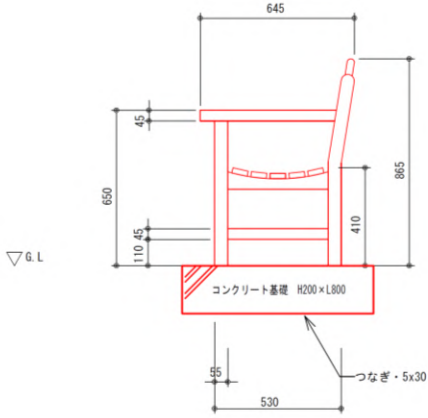
待合ベンチ S=1:Free



正面図 S=1:20



平面図 S=1:20



側面図 S=1:20

特記事項

木材	木材はチーク材を使用する
みえがかり部	みえがかり部はオイル系塗装仕上げとする。
(一社)	日本公園施設業協会賠償責任制度による総合賠償責任保険加入品とする。

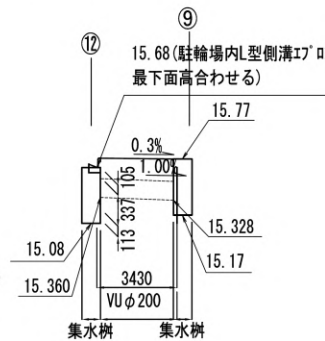
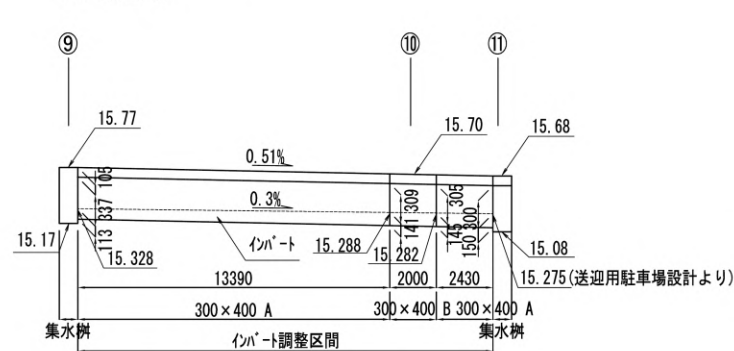
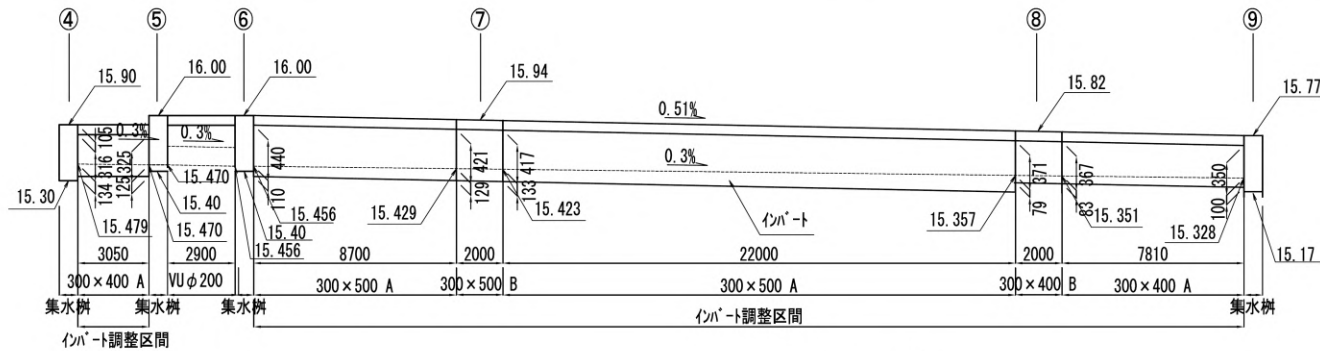
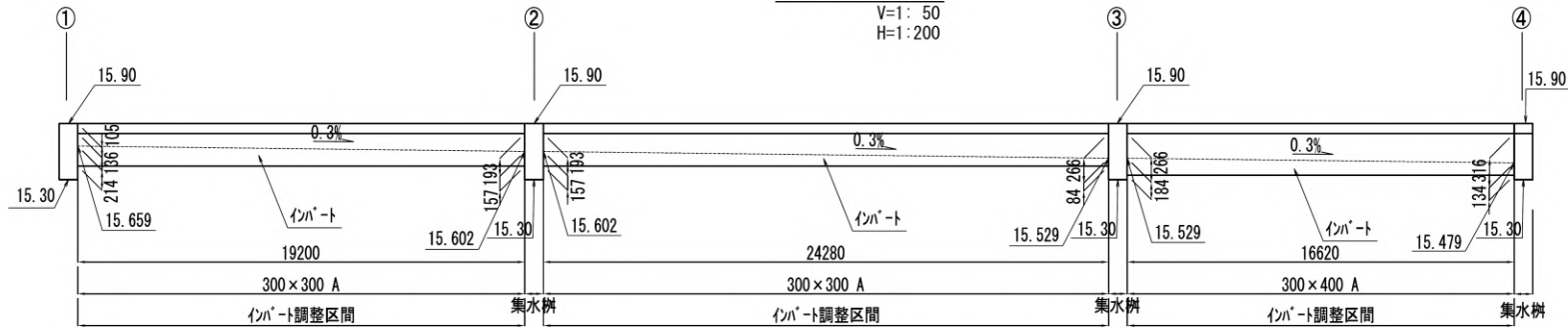
健幸ベンチ

参考品 : GB-N01

排水施設構造図
連絡通路、駐輪場屋外部

可変側溝展開図

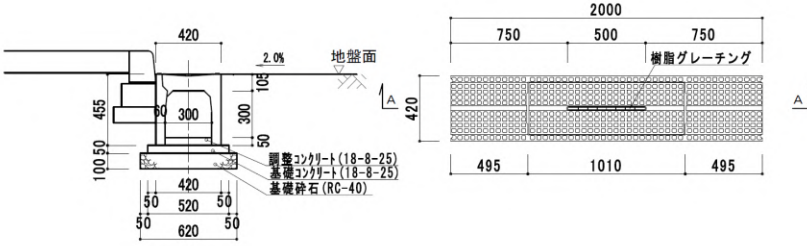
V=1:50
H=1:200



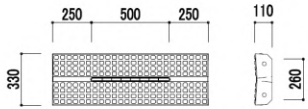
案内書名	見附駅東口側施設用地測量等業務		
工事箇所	見附市本所2丁目 地内		
工事名	工事		
図面番号	全枚数	32	
排水施設構造図			
設計	測量	山田建設株式会社	図示
新潟県 見附市			

排水施設構造図(1)

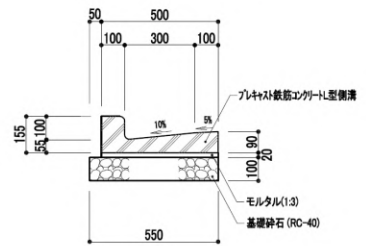
可変側溝A
(300×300～500) S=1:30



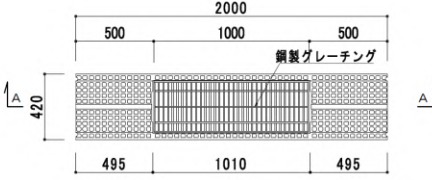
コンクリート蓋版



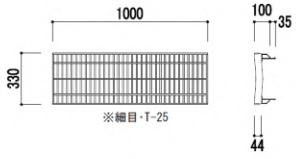
L型側溝(B=500)
S=1:20



可変側溝B
(300×300～500) S=1:30



グレーチング蓋版

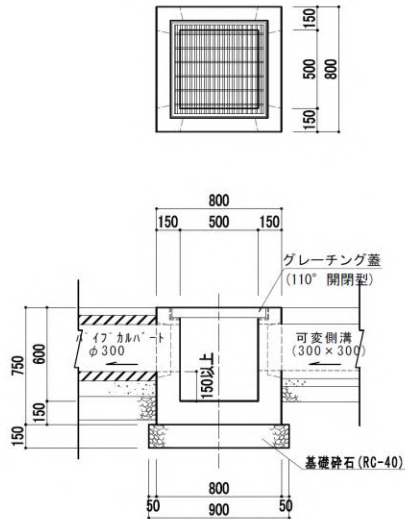


測量事務所名	見附駅東口側施設用地測量等業務
工事箇所	見附市本所2丁目 地内
工事名	工事
図面番号	全枚数
排水施設構造図(1)	
設計	山田建設株式会社
監理	新潟県 見附市

排水施設構造図(2)

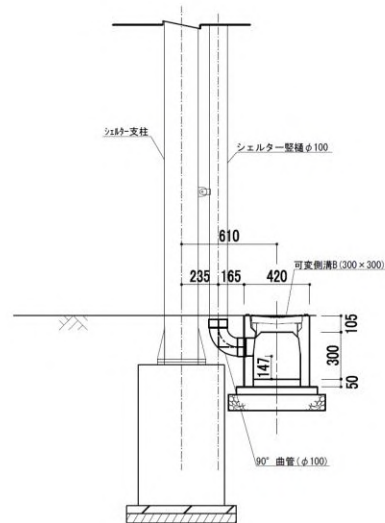
可変側溝用集水柵 (500×500×600)

S=1:30



シエルター縦樋接続詳細図

S=1:30



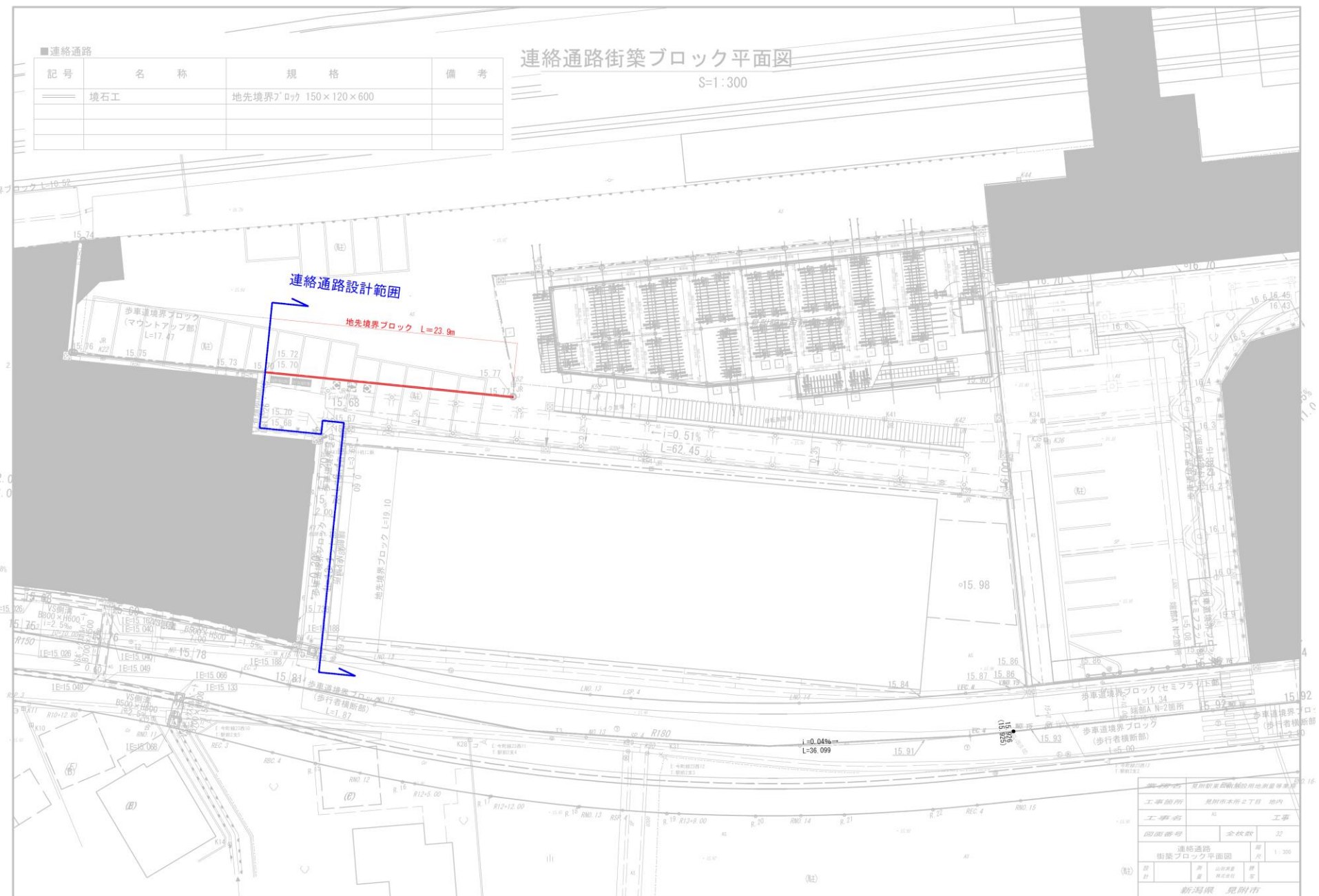
業務名称	見附駅東口側施設用地測量等業務		
工事箇所	見附市本所2丁目 地内		
工事名	工事		
図面番号	30	全枚数	
排水施設構造図(2)			図示
設計	測量	山田測量株式会社	豊 彦
新潟県 見附市			

■連絡通路

記号	名称	規格	備考
——	境石工	地先境界ブロック 150×120×600	

連絡通路街築ブロック平面図

S=1:300

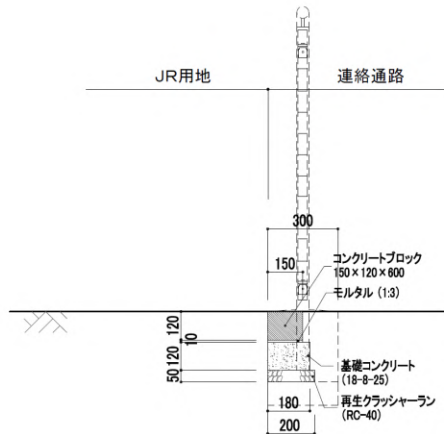


設計者	新潟県東蒲原郡妙高市
工事箇所	新潟市本所2丁目 地内
工事内容	工事
図面番号	全図数 52
連絡通路 街築ブロック平面図	図 1:300
設計	新潟県 新潟市

新潟県 見附市

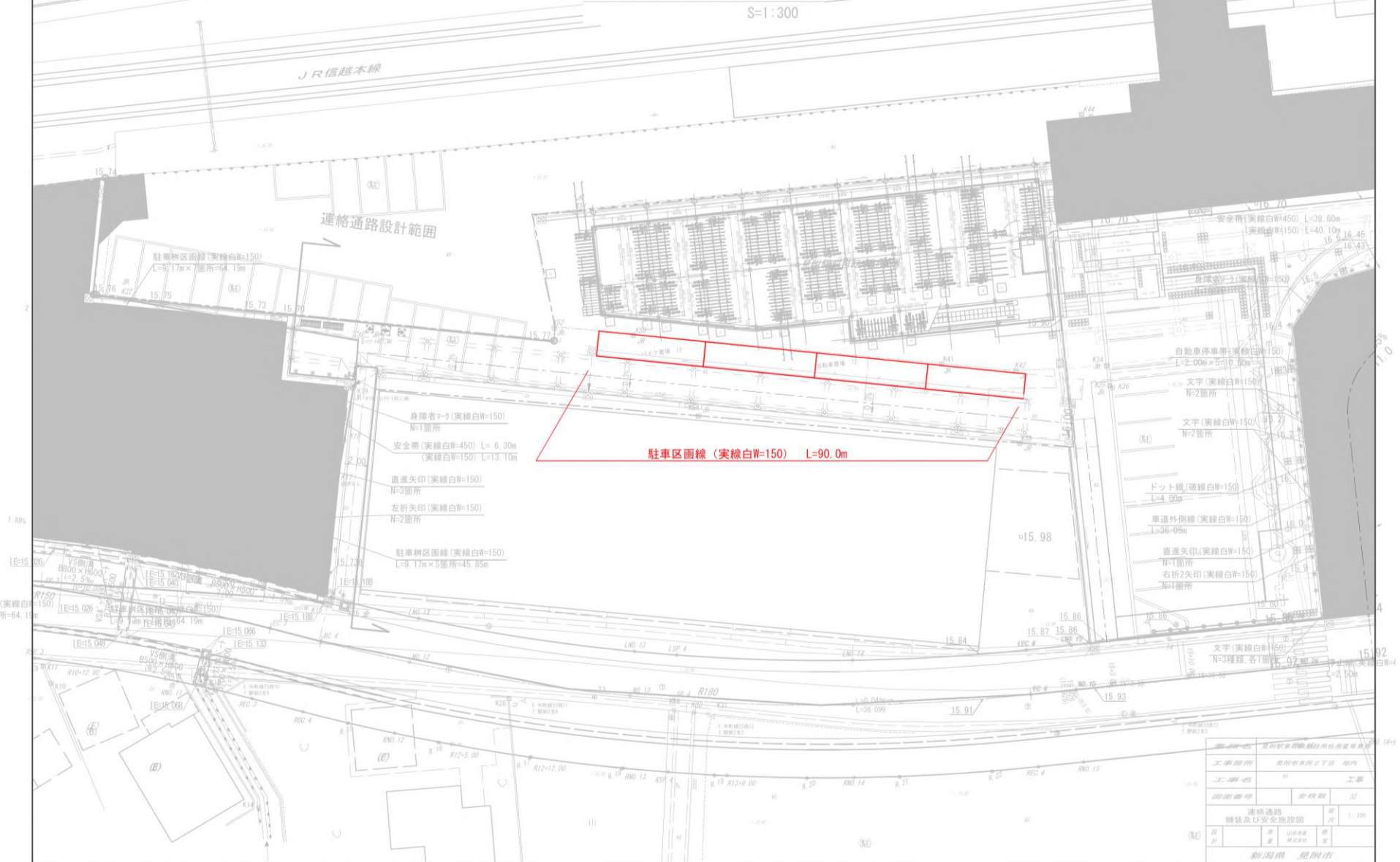
地先境界ブロック

JR側境界部



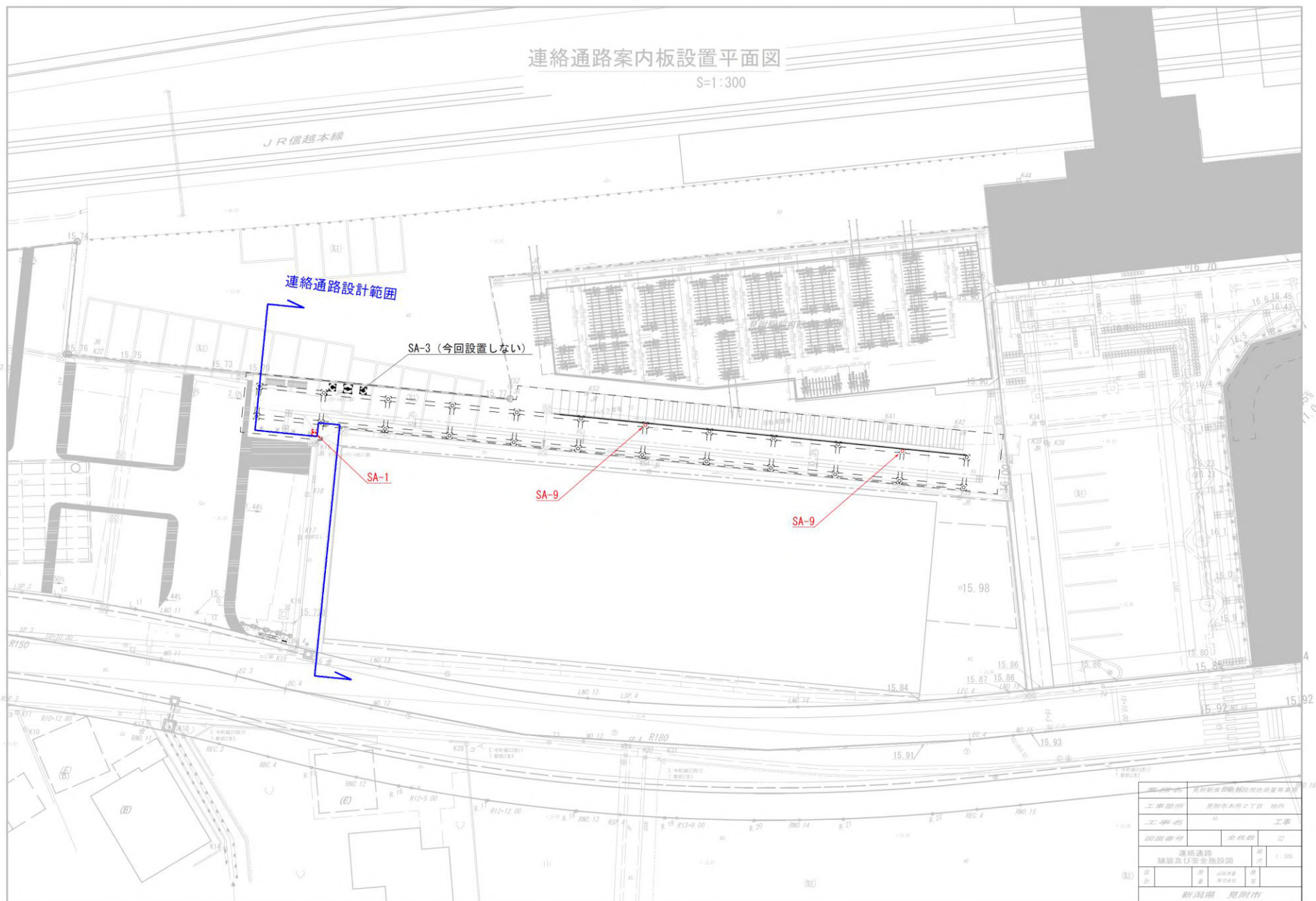
業 務 名	見附駅東口側施設用地測量等業務		
工 事 場 所	見附市本所 2 丁目 地内		
工 事 名	工事		
図 面 番 号	全枚数		
街築構造図			縮尺 図示
設 計	測 量	山形測量株式会社	撰 写
新潟県 見附市			

S=1 : 300



連絡通路案内板設置平面図

S=1:300

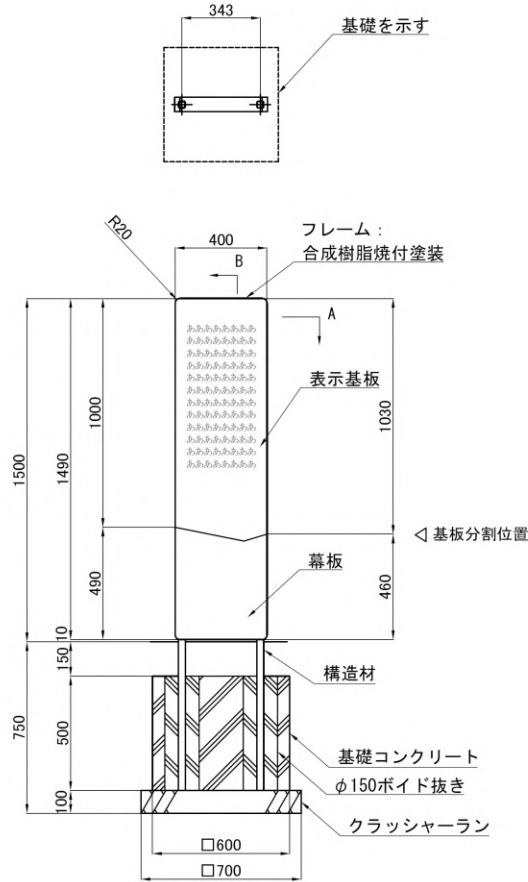


設計者	新潟県建設部建設技術課
工事箇所	豊前市本所丁 地内
工事内容	工事
図面番号	設計図 32
連絡通路 舗装及び安全施設図	図 1:300
設計	新潟県建設部建設技術課
監理	新潟県建設部建設技術課
承認	新潟県建設部建設技術課
新新潟県 豊前市	

案内板構造図(1)

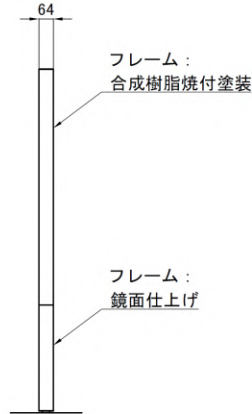
SA-1

S=図示

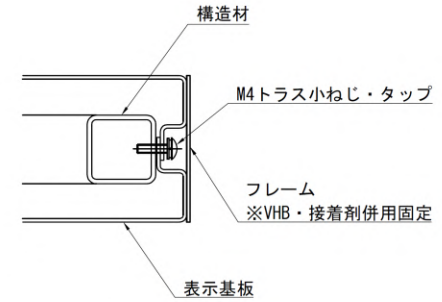


外観図 S=1/20

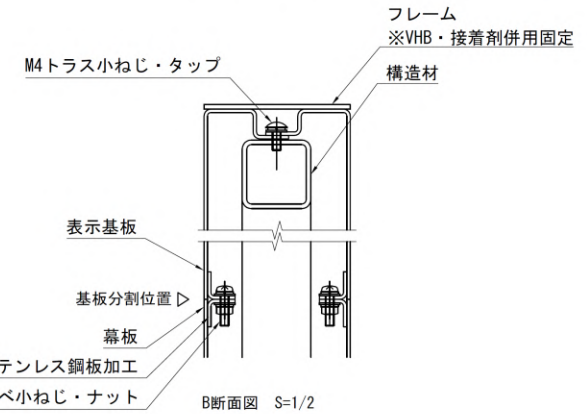
※表示は参考です



背面図 S=1/20



A断面図 S=1/2



B断面図 S=1/2

構造材：□30×t2.0 ステンレス角鋼管
表示基板：t1.5ステンレス鋼板加工 合成樹脂焼付塗装（指定色）
幕板：t1.5ステンレス鋼板 鏡面仕上げ
フレーム：t1.5ステンレス鋼板 合成樹脂焼付塗装（指定色）/鏡面仕上げ
表示方法：カッティングシート（表示基板 表側のみ）

※表示内容は打合せにより決定とする。
※塗装色は日塗工等で指示とする。

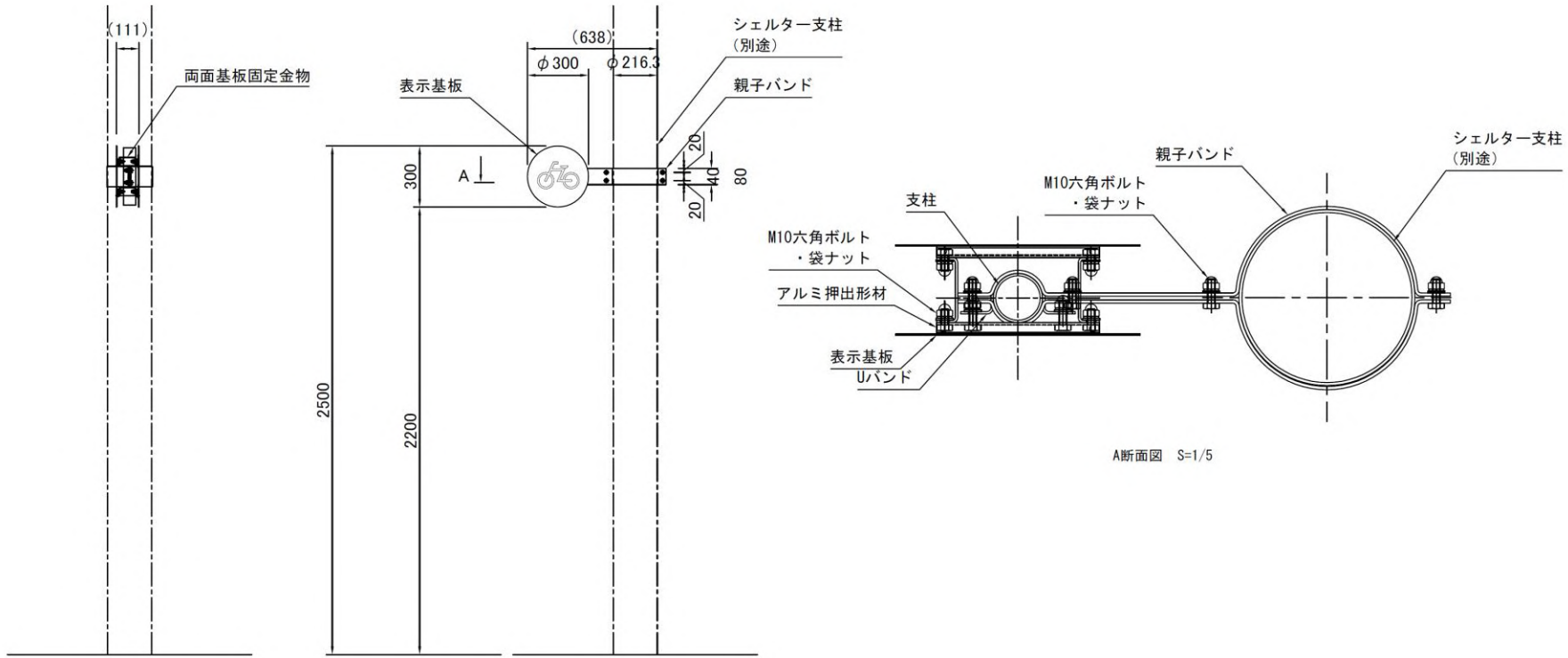
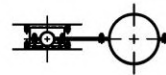
※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

事業所名	見附駅東口側施設用地測量等業務
工事箇所	見附市本所 2丁目 地内
工事名	工事
図面番号	金板敷
図面	図示
設計	山田建設株式会社
監理	山田建設株式会社
施工	山田建設株式会社
新潟県 見附市	

案内板構造図(3)

S=図示

SA-9



A断面図 S=1/5

外観図 S=1/20

※表示は参考です

支柱：φ60.5×t3.0 ステンレス鋼管 合成樹脂焼付塗装（指定色）
 親子バンド：ステンレス鋼板加工品 合成樹脂焼付塗装（指定色）
 Uバンド：アルミ加工品
 表示基板：t1.5ステンレス鋼板加工 合成樹脂焼付塗装（指定色）
 両面基板固定金物：アルミ加工品
 表示方法：エッチング 色差し1色

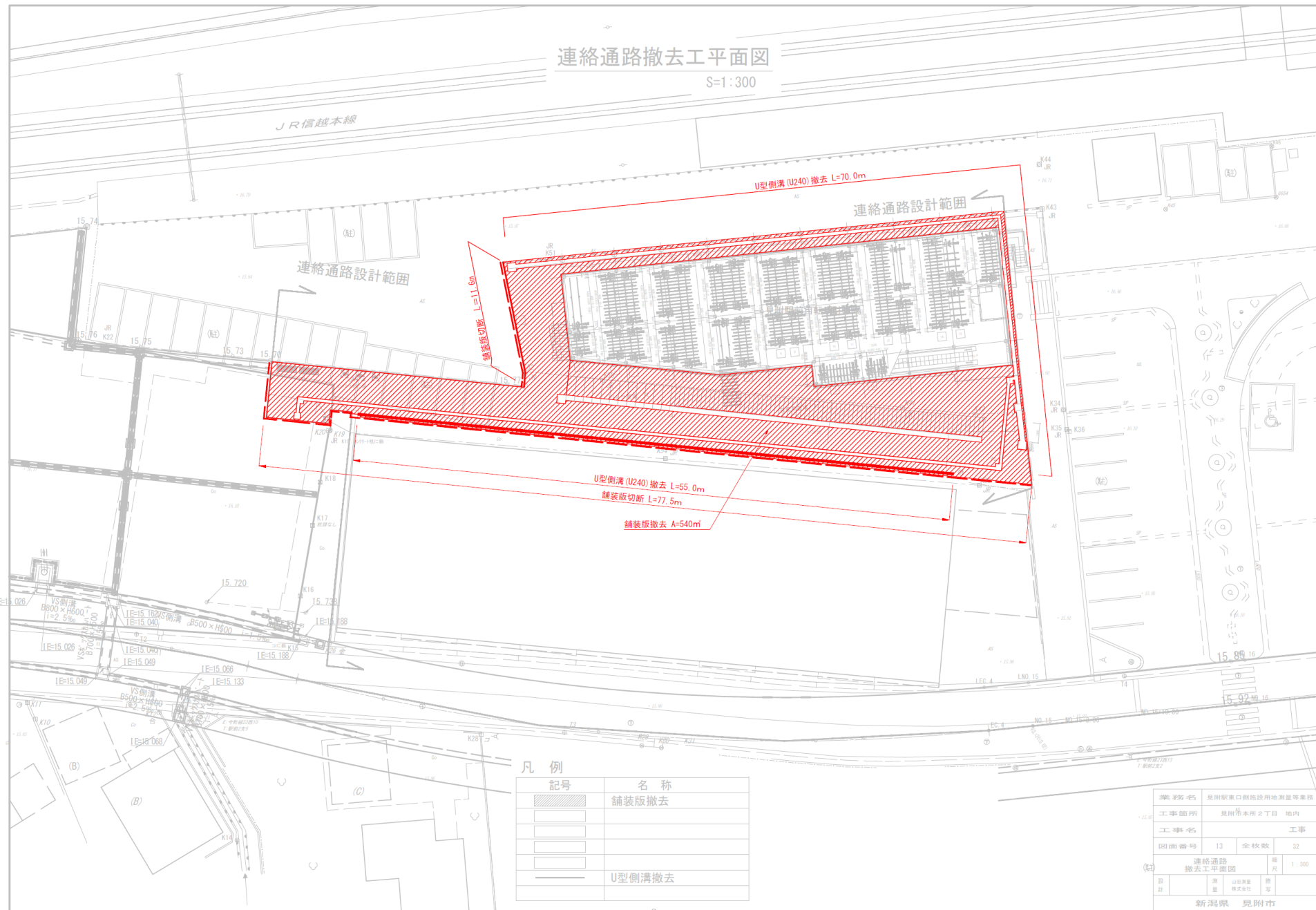
※表示内容は打合せにより決定とする。
 ※塗装色は日塗工等で指示とする。

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

事業所名	見附駅東口側施設用地測量等業務		
工事箇所	見附市本所2丁目 地内		
工事名	工事		
図面番号	全枚数	図示	
案内板構造図(3)			
設計	測量	山田清重	株式会社
新潟県 見附市			

連絡通路撤去工平面図

S=1:300



凡例

記号	名称
	舗装版撤去
	連絡通路設計範囲
	U型側溝撤去

業務名	見附駅東口側施設用地測量等業務
工事箇所	見附第1南2丁目 地内
工事名	工事
図面番号	13 全枚数 32
連絡通路 撤去工平面図	
設計	測量 山形測量 橋本建設 橋本建設
新潟県 見附市	